

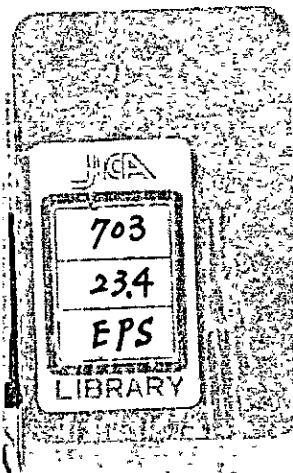
No.

業務資料 No. 526

# ブラジル工業技術移住者実態調査報告書

1979年7月

国際協力事業団



移計調
J R
79-1



JICA LIBRARY



1024408[5]

国際協力事業団	
受入 月日 84. 4. 10	703
登録No. 03121	23.4
	EPS

## は し が き

本調査は昭和43年度、46年度および50年度に次ぐ第4回の工業移住者実態調査である。

今回は前回までのサン・パウロ支部管内にとどまらず、昭和36年度から52年度までの17年間に当事業団扱即ち公募移住者としてブラジル国に渡航した者1350名全員を対象とした。

本報告書は集計時までに回収した611名についてサン・パウロ支部がとりまとめた。前回調査までは職種別の集計に主眼を置いたのに比べ、本調査は渡航年次毎の集計に主眼を置いている。

今後の工業移住推進上何等かの参考になれば幸いである。

本調査に協力いただいた、工業移住者、企業関係者、工業移住者協会、その他関係各位に対し深く感謝の意を表する。

移住計画調査部長

この調査報告書を理解するための参考事項

1. 諸 指 標

区分 年	最 低 賃 金 サン・パウロ市	生活賃上昇率 サン・パウロ市	1 ドル 相 当 クルゼイロ 額 (年末)	1 クルゼイロ 相 当 円 額 (年末)
1961	Cr\$ 944	- %	Cr\$ 0.30	1199円
1962	1321	61.8	0.46	781
1963	2100	80.5	0.60	598
1964	4200	85.6	1.83	195
1965	66.00	41.2	2.20	164
1966	8400	46.3	2.20	164
1967	10500	25.3	2.70	133
1968	12960	25.2	3.80	95
1969	15600	22.6	4.32	83
1970	187.20	17.5	4.92	73
1971	225.60	20.6	5.60	64
1972	268.80	14.5	6.18	50
1973	31200	14.5	6.18	44
1974	5月1日 376.80 12月1日 415.20	33.0	7.39	42
1975	532.80	32.8	9.02	37
1976	768.00	44.8	12.28	28
1977	1106.80	45.2	15.95	19
1978	1560.00	41.0	9月1日 18.75	9月1日 10.15

2. 調 査 時 の 物 価

項 目	価 格	円 相 当 額
下宿代月額(食事付)	Cr\$ 2,000~	20,300~円
アパート家賃月額(サン・パウロ市中心 1居間2寝室)	3,500~	35,525~
冷蔵庫(大型)	6,000~	60,900~
ガスレンジ	4,000~	40,600~
病院初診料	300~	3,045~
卵(上・1ダース)	11	110
牛肉(上 1kg)	42	425
牛乳(1ℓ)	11	110
ビール(ビン別 1本)	8	80
タバコ(20本入 フィルター付)	10	100
背広上下(既製品)	2,000~	20,300~
ワイシャツ(テロン)	250~	2,540~

3. 換 算 率 (昭和53年8月30日)

9月は円が最も変動した時期であり対ドル200円前後であった。この後、円安傾向となったため邦価換算額は参考程度と理解されたい。

$$US \$ 1.00 = ¥ 190.25 = Cr \$ 18.75$$

$$Cr \$ 1.00 = 10.15円$$

## 目 次

I 調査方法の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査の方法	1
4. 調査時期	1
5. 調査対象者の推定分布状況	1
II 調査結果の概要	8
1. 一般状況	8
(1) 調査教概況	8
(2) 年齢構成	8
(3) 未・既婚の別	9
(4) 兄弟(姉妹)数	10
(5) 最終学歴	12
(6) 住宅事情	13
(7) 不動産	14
2. 就労状況	15
(1) 就労企業資本形態等	15
(2) 給 与	16
(3) 担当している主な仕事の内容	17
(4) 労働時間	17
(5) 独立の希望	17
3. アンケート調査集計結果	18
(1) 就労状況	18
(2) 技術について	22
(3) 一般生活について	23
(4) 移住その他について	35
〔附表〕	
1. 調査回答者 就労企業一覧表	39
(1) 日系進出企業	39
(2) 日系コロニア企業	41
(3) 伯国および外国系企業	43





## I 調査方法の概要

### 1. 調査目的

ブラジルに移住した工業技術移住者を対象として、その家族、生活環境、収支、移動、独立状況及び移住に関する感想等を調査し、現状を把握するとともに、今後の工業移住業務推進上の基礎資料を得ることを目的とした。

### 2. 調査対象

工業移住制度が始まった昭和36年度から昭和52年度までの17年間にブラジルに移住した工業移住者のうち、指名呼寄および産業開発青年隊を除くいわゆる事業団抜移住者全員1,350件（自費渡航者も含む）とした。（年度別 支部別移住者数（調査対象者）は、表1の通り）これが現況については、サン・パウロ支部では表2の通り推定している。

### 3 調査の方法

調査員が対象者と面接して記入する、個別面接聴取を原則としたが、事前に企業を通じ調査表を配布、本人に記入してもらいあらかじめ回収に赴く調査方法も併用した。その他当事業団事務所来訪時を利用したり、休日、夜間等に自宅を訪問して調査したものもある。

サン・パウロ支部管外の対象者については、その管轄支部の協力を得、サン・パウロ支部より調査員を派遣して調査を実施した。（調査票は資料1の通り）

### 4. 調査時期

調査は昭和53年7月から54年1月までの7ヶ月間にわたって実施しており、その間給与調整や、物価の上昇があったが、この修正作業は実施していない。

ただし調査時点としては回収の最も多かった昭和53年9月として差支えないと思われる。

表1 年度別管轄支部別事業団扱移住者数

(家族、単身の別は渡航時の区分による)

年度 (昭和)	サン・パウロ			リオ・デ・ジャネイロ			ベレゾン			レシフェ			ポルト・アレグレ			他 国 計				
	家長 (同件)	単身 (同件)	計	家長 (同件)	単身 (同件)	計	家長 (同件)	単身 (同件)	計	家長 (同件)	単身 (同件)	計	家長 (同件)	単身 (同件)	計	家長 (同件)	単身 (同件)	計		
35	13	35	84	3	4	15	22								16	39	51	106		
37	0	0	37	1	1	2	4								1	1	39	41		
38	5	8	34	47											5	8	34	47		
39	2	5	29	36											2	5	29	36		
40	9	16	70	95						0	0	4			9	16	74	99		
41	17	33	92	142											17	33	92	142		
42	10	18	60	88											12	21	61	94		
43	8	12	51	71						1	1	9	11	0	2	9	13	85	107	
44	8	10	45	63											17	24	104	145		
45	6	8	53	67											8	14	60	82		
46	14	23	75	112											15	24	77	116		
47	25	57	105	187											26	60	108	194		
48	19	42	77	138											19	42	83	144		
49	21	47	75	143											22	50	79	151		
50	19	49	44	112											21	54	46	121		
51	9	20	47	76											13	30	53	96		
52	17	40	42	99											17	40	46	103		
計	202	423	972	1597	22	39	121	182	0	0	4	4	4	8	17	29	47	121	1,824	
																				1,350件

- 註 1. 招名時移住者は除外  
 2. 昭和39年度、産業開発青年隊32名は除外  
 3. 自費渡航者であっても、事業団あつせんの方は含む(97件)

表 2. 調査対象者の推定分布状況  
 (調査結果に基づく推定)

	単位 人
(1) サン・パウロ支部管内在住者	844
ア 日系コロニア企業	170
イ 日系進出企業	214
ウ 外国系企業(含伯国系)	289
エ 独立自営(含共営)	125
オ 商業	22
カ 農業	12
キ 学生, 病気療養中等	12
(2) その他支部管内在住者	126
ア リオ・デ・ジャネイロ支部管内	107
イ レシフェ支部管内	7
ウ ベレーン支部管内	6
エ ボルト・アレグレ支部管内	6
(3) 所在未確認者	146
(4) 帰国者(含一時帰国中)	224
(5) 死亡者	10

工業移住者各位殿

1978年7月

国際協力事業団

工業移住者の実態調査について（協力ご依頼）

貴殿ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 さて、1961年（昭和36年）に、工業移住者制度が開始されて以来、既に17年の年月が経過し、  
 本年1月までに約1,500名の仲間が移住してきており、ブラジル工業界の各分野で活躍して  
 おります。当事業団では、このたび工業移住者の実態を把握し、今後の海外移住推進のため  
 の貴重な資料に供したいものと考え、実態調査を実施することになりました。  
 つきましては御多忙中のところ、甚だ恐縮とは存じますが、本調査に何卒ご協力方よろしく  
 お願い申し上げます。

工業移住者実態調査票

(一) 一般状況

整理番号			
調査日		1978年	月 日
調査員			
氏名	ローマ字		
生年月日	19 年 月 日 (満 才)	滞在年月	19 年 月 (当時 才で在伯 年)
出身県	部、道、府、県	滞伯時	A. 未婚 B. 既婚 (子供 人) 兄弟 (姉妹) 人で 男 (続柄)
最終学歴	中学、高校、養正 期、専門学校 短大 大学 大学院 (中退、卒業)		
引受企業	滞伯時の職種		
家族状況	続柄	年齢	国籍 備考：帰化、結婚時期、子供の学校(公・私立)及び学年 etc.
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
現住所	Fone :		

日本国内の連絡先及び氏名		(読柄)					
住宅	I.	A. 独立家庭	B. アパート	C. 間借り	D. 下宿	E. 寮	F. その他
	II.	A. 自己所有		B. 払込中	C. 賃借		D. その他
資産	A. 現預金 CR\$		B. 不動産 (1. CR\$		2. CR\$		)
	C. 公社債 CR\$		D. 車 CR\$		E. その他		

## (二) 現就労概況 (※独立者は(三)に記入のこと)

就労会社							
所在地							
資本形態	A. 日系コロニア		B. 日系進出		C. ブラジル企業		D. 外国( )系
生産品目							
所属部署(役職名)			給料	CR\$ ( 月より), 過去1年に		回 昇給	
労働時間	週	日割(午前)	時~	時(午後)	時~	時 時 時	
担当している主な仕事の内容							
独立の希望	A. あり( 年後が目標)		B. なし				

## (三) 自営状況 (※共営を含み独立者のみ記入のこと)

会社名	(自営, 共営)							
所在地								
設立年月	19 年 月	業種				従業員	人	
資本金	A. 設立時 CR\$		B. 現在 CR\$		C. 自己出資 %			
資本調達法	A. 自己資金		B. 親元より送金		C. 市中銀行		D. 事業団融資	E. その他
年間生産量	生産品目		年間売上高 CR\$					
平均月収	CR\$		機械・設備等の評価額		CR\$			
主な取引先								
敷地	I. 土地		㎡, 建物		㎡ II. 自己所有, 賃借, 払込中, その他			
会社の収支状況	月平均収入 CR\$		月平均支出 CR\$					
	支出内訳(人件費		%, 原材料費		%, 設備費		%, 建税その他 %	
事業団の工業融資	A. 受け入れ経験あり		B. 希望する(CR\$		程度) C. 希望なし			

## アンケート調査票

(氏名) \_\_\_\_\_

## (一) 就労状況

1. 現在の職場			
(イ) 人間関係	A. 満足	B. 普通	C. 不満足
(ロ) 仕事の内容	A. 満足	B. 普通	C. 不満足
(ハ) 厚生施設	A. 満足	B. 普通	C. 不満足
(ニ) その他( )	A. 満足	B. 普通	C. 不満足
2. 給料は同僚に比べて	A. 妥当だと思う	B. 普通	C. 妥当でない
3. 給料は他社に比べて	A. 妥当だと思う	B. 普通	C. 妥当でない
4. 現在の会社は	A. 能力主義だと思う	B. 普通	C. 思わない
5. 転社希望	A. あり	B. なし	

## (二) 技 術

6. 機械施設、工具等は日本と比べて	A. 進歩している	B. 同程度	C. 遅れている	
7. 職種転換について	A. 希望あり	B. なし		
8. 職種転換の経緯	A. あり	B. なし		
9. あればその職種内容	<input type="text"/> - <input type="text"/>	結果 (A. 良かった	B. 同じ	C. 悪かった
10. 日本で習得しておけば良かったと思う専門技術	<input type="text"/>			

## (三) 一般生活

11. 当国に定住	A. 定住する	B. まだ料らない	C. 帰国したい	
12. 携行資金	ドル		追加送金額	
13. ブラジル人の親しい友人	A. 5人以上	B. 4-5人	C. 2-3人	D. なし
14. 結婚(既婚者)	A. 日本で結婚	B. 呼寄	C. 当地で結婚(日系一世、日系二・三世、日系人外)	
15. 結婚相手(未婚者)	A. 日本から呼びたい	B. 当地で選ぶ	(日系人、日系人外、どちらでもよい)	
16. 結婚時期(未婚者)	A. 1年以内	B. 2年	C. 3-4年	D. まだ考えていない
17. 留守家族との交通	A. 年間	通程度	B. 殆んどなし	
18. ブラジル人の性情	(調査に)			
19. 1ヶ月の生活費	約 CR\$	A. 住宅費 CR\$		
	B. 食費 CR\$	C. 衣料費 CR\$		
	D. 医療費 CR\$	E. 雑費 CR\$		

20, 住 宅	I. 自己所有: A. 支払済 B. 払込中 (毎月CR\$ 毎年CR\$ )
	II. 借 家 (家賃 毎月CR\$ ) III 間借り (部屋代 毎月CR\$ )
	IV. 下 宿 (A. 食事付 毎月CR\$ B. 食事なし 毎月CR\$ )
	V. その他
21, 借家の契約方法	I. 保証人あり (A. 会社で世話 B. 知人 C. 保証業業者)
	II. 保証人なし (A. 敷金積 B. 一切不要 )
22, 自 家 用 車	車種 19 年型
23, 煙 味・紙 張	
24, 子供の学校教育	A. ブラジル語のみ B. ブラジル語と日本語
25, 家庭での使用言葉	A. ブラジル語 B. なるべくブラジル語 C. なるべく日本語 D. 日本語のみ
26, ブラジルでの教育	A. 受けた ( 年まで, 現在 年に在学) B. 家庭教師 (約 年) C. なし
27, 現在の語学程度	A. 新聞を読解できる B. 仕事上不自由なし C. 日常生活に不自由なし D. 日常生活にも困る
28, 職場で語学に不自由しない程度になるのに要した年月	A. 1年位 B. 2年 C. 3年 D. 4年以上
29, REVALIDAÇÃOに関して	A. エンプレエエイロの資格を取得した B. 取得手続中 C. 関心なし
30, 副収入の有無 (配偶者の分も含めて)	A. ある (毎月 約CR\$ ) B. なし
31, 訪日について	A. 訪日したことがある (昔何回 年回) B. 予定している
32, 病 気 の 場 合 (家族を含めて)	A. I. N. P. S. 病院を利用 B. 企業の医療施設を利用
	C. 個人病院 (日系, 日外) を利用 D. 援協病院を利用

## (四) 移住, その他

33, 移住して	A. 良かった B. まだ判らない C. いずれ帰国したい
34, その理由	
35, 工業移住者協会	A. 設立されたことを知っている B. 知らない
36, 協会の運営について	A. 積極的に参加したい B. 出来るだけ協力したい C. 関心なし
37, 協会に望むこと	
38, 後継移住者へのアドバイス	
39, 移住70周年に関して	A. 関心がある B. 余りない C. 全く関心なし
40, 当団の事務所を訪問したことがありますか	A. ある B. 行きたいがひまがない C. 行く用事がない
備考: 当団に関する要項事項等	

## Ⅱ 調査結果の概要

### Ⅰ. 一般状況

#### (1) 調査数概況

調査対象1,350件中、所在等判明している970件に対し、面接、調査票の配布を行い、611件の回答を得た。渡航年度別調査数は表3の通り。

表3 調査数概況

(単位：件)

渡航年度	対象総数	回答数	未回収数	帰国数	死亡数	所在未確認数
36	67	25	23	9	0	10
37	40	13	14	4	1	8
38	39	26	5	4	0	4
39	31	20	2	7	0	2
40	83	26	24	12	1	20
41	109	47	19	16	2	25
42	73	51	3	17	0	2
43	94	31	18	21	3	21
44	121	29	54	16	0	22
45	68	28	19	12	1	8
46	92	29	33	25	2	3
47	134	73	49	6	0	6
48	102	43	20	29	0	10
49	101	47	32	17	0	5
50	67	32	21	14	0	0
51	66	40	17	9	0	0
52	63	51	6	6	0	0
計	1,350	611	359	224	10	146
全体に占める割合	100%	45%	27%	16%	1%	11%

※ 帰国数には、一時帰国中の者、帰国準備の者を含む。

#### (2) 年齢構成

昭和35年12月末日現在の年齢である。

全体の平均年齢は34.6才である。



渡航時の年齢は毎年高くなる傾向にあり、これは、技術経験の豊かな者が増加しているといえよう。

表4 年 令 構 成 (1978 1231現在)

(回答数 611)

年令 渡航年度	20~25	26~30	31~35	36~40	41以上	計	平均年令
36	0	0	0	4	21	25	46.0
37	0	0	1	9	3	13	38.2
38	0	0	5	12	9	26	38.7
39	0	0	3	14	3	20	38.4
40	0	0	3	15	8	26	39.4
41	0	0	13	23	11	47	38.5
42	0	1	20	21	9	51	37.0
43	0	3	13	11	4	31	35.8
44	0	5	15	7	2	29	34.8
45	0	4	18	6	0	28	33.3
46	0	10	13	6	0	29	32.2
47	0	33	23	13	4	73	32.1
48	0	23	13	5	2	43	31.1
49	2	18	14	9	4	47	32.8
50	1	15	12	3	1	32	31.3
51	4	20	11	3	2	40	30.6
52	2	21	17	7	4	51	31.2
計	9	153	194	168	87	611	34.6
%	1.5%	25.0%	31.8%	27.5%	14.2%	100%	

(3) 未・既婚の別

工業移住者の約4分の3が独身で移住している。

この独身で渡航した者のうち、10年以上経過した者の94%が、また5年以上経過した者の81%が、既に結婚している。

前回の調査時点での独身者は34.3%であったが今回は25.4%と減少した。

子供の数は1.7人と少なく、既に15年以上経過した者についても平均2.4人であり、独身農業移住の典型であるコチア青年が、3.2人であるのに比べ、都会生活者が多いためか、子供の数は少ない。

配偶者に関する調査結果は後述する。

表 5 未 ・ 既 婚 者 数

渡航 年度	渡 航 時		現		在
	未 婚	既 婚	未 婚	既 婚	既婚者平均子供数
36	14人	11人	1人	24人	2.6人
37	12	1	0	13	2.4
38	22	4	0	26	2.2
39	17	3	1	19	2.8
40	17	9	2	24	2.2
41	35	12	1	46	2.1
42	41	10	3	48	1.5
43	23	7	3	27	1.7
44	22	7	2	27	2.0
45	23	5	7	21	1.6
46	26	3	8	21	1.3
47	56	17	19	54	1.3
48	34	9	16	27	1.3
49	29	18	19	28	1.5
50	24	8	18	14	0.9
51	31	9	24	16	0.8
52	36	15	31	20	0.9
計	462人	148人	155人	455人	
%	75.7	24.3	25.4	74.6	平均 1.7人

(4) 兄弟(姉妹)数, 続柄

工業移住者の兄弟(姉妹)数は平均4.4人という結果が出た。この数は各年度平均している。また続柄は次男が最も多く約3分の1を占めている。

長男も30%近くあり、移住者は次・三男以下が多く長男は少ないという通説は必ずしも当たっていない。

表6 兄弟(姉妹)数

(回答数 441)

兄弟姉妹数 渡航年度	1人	2人	3人	4人	5人	5人~	平均
36	0	1	3	3	8	2	4.6
37	1	1	2	0	2	2	3.9
38	0	0	4	4	5	7	5.4
39	1	1	1	3	2	6	5.2
40	2	0	2	4	2	9	5.4
41	1	1	10	4	8	10	4.8
42	1	3	6	6	5	12	4.8
43	2	2	4	8	3	7	4.4
44	1	1	4	8	2	5	4.3
45	2	1	6	1	4	5	4.4
46	0	1	3	7	5	3	4.5
47	2	8	9	19	10	10	4.1
48	1	6	9	7	5	5	3.8
49	3	3	9	4	7	7	4.2
50	1	2	11	1	2	7	4.3
51	0	5	6	5	9	4	4.1
52	0	5	8	10	3	8	4.4
計	18	41	97	94	82	109	平均4.4
%	4.1%	9.3%	22.0%	21.3%	18.6%	24.7%	

表7 統 柄

(回答数 441)

渡航年度	長男	次男	三男	四男	五男	五男~
36	5	5	2	5	0	0
37	1	4	3	0	0	0
38	4	6	4	4	2	0
39	4	2	4	2	1	1
40	4	4	5	3	2	1
41	8	18	5	0	3	0
42	8	11	10	2	2	0
43	9	9	4	1	2	1
44	9	6	2	3	0	1
45	7	5	5	1	1	0
46	3	6	6	3	1	0
47	20	15	13	4	5	1
48	9	9	10	3	1	1
49	10	10	7	5	1	0
50	10	8	3	2	1	0
51	10	10	6	2	1	0
52	8	15	6	1	2	2
計	129	143	95	41	25	8
%	29.3%	32.4%	21.5%	9.3%	5.7%	1.8%

(5) 最終学歴

前回の調査に比べ大学卒業者の割合が増加している。

昭和36年度から同45年度までの当初10年間、大学卒業者は20.5%であったものが最近7年間では32.4%に増加しており、近年大卒者の割合が高くなる傾向にあるといえよう。

秦野職業訓練校（現横浜高等職業訓練校）は、神奈川県職業訓練校の1つで、昭和37年に移住する技能者を対象に、現地技能者として必要な知識技能を習得させることを目的とし、工業技術移住科（6ヶ月コース）を設けた。現在までに約300名の卒業生をブラジルに送り出しており、同校卒業生はタテ横の連絡も強く、現地での定着安定率もよい。

表8 最終学歴

（回答数 605）

渡航年度	中学校	高校	秦野職業訓練校	短大・専門学校	大学	計
36	4	8	0	8	4	24
37	0	4	6	1	2	13
38	0	5	12	4	5	26
39	1	2	12	3	2	20
40	1	6	7	4	7	25
41	2	13	15	9	7	46
42	4	16	16	6	9	51
43	0	10	7	7	7	31
44	1	8	6	4	10	29
45	0	8	6	7	7	28
46	1	11	6	4	7	29
47	1	29	12	15	15	72
48	1	16	7	6	12	42
49	2	12	7	11	15	47
50	1	7	5	6	12	31
51	1	14	10	8	7	40
52	2	11	8	7	23	51
計	22	180	142	110	151	605
%	3.6%	29.8%	23.5%	18.2%	24.9%	100%

(6) 住宅事情

今回調査回答者の65.9%約3分の2が独立家屋に住み、18.8%がアパートとなっている。

アパートに住む割合は年々増加する傾向を示している。これは、独立家屋が少なくなってきたことを反映しており、住宅事情は徐々にきゅうくつになってきていると見られる。

渡航後の経過年数が少ない程、独身者が多いため間借、下宿、寮生活者が多い。

住宅の自己所有者、及び住宅ローン返済中の者は全体で50%以上という高率であり、前回調査時の33%、前々回の16%と比べ大巾な伸びを示したことは生活の安定を伺わせる。

在伯7年で約半数が、在伯10年で3分の2以上の者が住宅を所有するという結果が出た。なお、アパートとは、日本でいうマンションと考えて良い。

表9 住宅形態

(回答数 592)

形態 渡航年度	独立家屋		アパ-ト		間借り		下宿		寮		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
36	22	88.0	2	8.0	0	-	1	4.0	0	-	25	100
37	13	100	0	-	0	-	0	-	0	-	13	100
38	25	96.2	1	3.8	0	-	0	-	0	-	26	100
39	17	85.0	2	10.0	0	-	0	-	1	5.0	20	100
40	19	76.0	4	16.0	1	4.0	0	-	1	4.0	25	100
41	34	75.6	10	22.2	0	-	0	-	1	2.2	45	100
42	41	83.7	8	16.3	0	-	0	-	0	-	49	100
43	25	80.6	4	12.9	2	6.5	0	-	0	-	31	100
44	21	75.0	7	25.0	0	-	0	-	0	-	28	100
45	18	72.0	5	20.0	2	8.0	0	-	0	-	25	100
46	21	72.5	6	20.7	1	3.4	1	3.4	0	-	29	100
47	42	60.0	15	21.4	3	4.3	6	8.6	4	5.7	70	100
48	26	60.5	9	21.0	4	9.3	2	4.6	2	4.6	43	100
49	25	53.2	12	25.5	3	6.4	4	8.5	3	6.4	47	100
50	14	46.7	5	16.7	2	6.6	6	20.0	3	10.0	30	100
51	10	27.8	8	22.2	5	13.9	4	11.1	9	25.0	36	100
52	17	27.8	13	26.0	2	4.0	11	22.0	7	14.0	50	100
計	390	65.9	111	18.8	25	4.2	35	5.9	31	5.2	592	100

表10 住宅所有状況

(回答者 492)

渡航年度	形態		自己所有		ローン返済中		賃借	
	人	%	人	%	人	%	人	%
36	12	50.0	7	29.2	5	20.8		
37	8	61.5	3	23.1	2	15.4		
38	15	57.7	6	23.1	5	19.2		
39	7	36.8	5	26.4	7	36.8		
40	9	39.1	8	34.8	6	26.1		
41	13	29.5	18	41.0	13	29.5		
42	13	26.5	24	49.0	12	24.5		
43	8	27.6	12	41.4	9	31.0		
44	5	17.9	13	46.4	10	35.7		
45	1	4.5	11	50.0	10	45.4		
46	3	11.5	9	34.6	14	53.9		
47	4	6.9	22	37.9	32	55.2		
48	2	6.1	13	39.4	18	54.5		
49	5	13.9	9	25.0	22	61.1		
50	2	10.5	6	31.6	11	52.9		
51	1	5.9	0	—	16	94.1		
52	1	3.8	1	3.8	24	92.4		
計	109	22.2	167	33.9	216	43.9		

※下宿、間借りは除く。

7) 不動産

資産の所有状況は現預金、不動産、車輛、公社債等の項目について調査したが、現預金については流動的の要素が多い事、車輛については自己による評価額であるため信ぴょう性が薄いこと、公社債については回答数が少なかった事等の理由により不動産評価額についてのみ集計した。

今回は回答の無かった者は零として積算してある。

全体の平均はGr\$405,500.00約410万円という結果が出た。

なお、現預金の平均はGr\$40,000(406,000円)車輛評価額平均はGr\$50,000(507,500円)前後であった。

表11 所有不動産評価額

単位 千Cr\$

渡航年度	評価額平均	渡航年度	評価額平均
36	11304	45	2564
37	6381	46	4897
38	8154	47	2383
39	7110	48	1559
40	6033	49	2453
41	8764	50	841
42	5299	51	797
43	4748	52	235
44	4555	総平均	405.5

2. 就労状況

(1) 就労企業資本形態等

在伯年数が長くなる程日系以外の企業に就労する傾向は前回調査と変わりなく、日系と非日系との比率66:34もほぼ変動ない。

今回の調査で特に目立った事は自営独立者(共同経営者を含む)が大巾に増加した事である。前回の調査では全体の6.6%であったものが、今回は、16.4%と率で2.5倍近い数となった。

伯国は不況下にあり、自営独立は困難といわれながらも、着実に増加している。

表12 就労先形態

(回答数 611)

渡航年度	日 系			伯国系	外国系	自 営	学生・失業 病氣等	合 計
	コロンブ	進 出	小 計					
36	2	2	4	5	8	8	0	25
37	1	5	6	2	3	2	0	13
38	1	10	11	4	8	3	0	26
39	3	3	6	4	7	3	0	20
40	4	5	9	4	9	4	0	26
41	5	13	18	10	9	10	0	47
42	13	10	23	8	10	9	1	51
43	5	7	12	9	6	4	0	31
44	3	13	16	5	3	5	0	29
45	8	8	16	4	4	4	0	28
46	2	17	19	6	0	4	0	29
47	19	19	38	10	2	21	2	73
48	13	18	31	4	3	5	0	43
49	13	14	27	6	1	12	1	47
50	12	8	20	5	1	5	1	32
51	16	16	32	4	2	1	1	40
52	20	24	44	6	1	0	0	51
計	140	192	332	96	77	100	6	611
%	23%	31%	54%	16%	13%	16%	1%	100%

(2) 給 与

調査期間が7ヶ月の長期に亘ったため、集計時点での給与は20%以上昇給していると思われ、本表の平均給与は昭和53年8月時点とみてほぼ間違いないと思われる。

前回調査時から今回調査時まで、法定最低賃金、生活費とも約2.9倍上昇したが、工業移住者の平均給与は3.2倍となっており順調な伸びといえよう。

法定最低賃金と工業移住者の平均給与を比較した場合、前は10.8倍、今回は11.8倍である。

平均給与額Cr\$18,400は円換算で186,760円、企業形態別では外国系、伯国系、日系進出、日系コロニアの順となっている。

回答者の最高給与は、Cr\$63,000⇔639,450円、最低は、Cr\$5,000⇔50,750円である。

1年間の昇給回数は最高5回、平均2回という結果が出た。

表13 企業形態別平均給与

(回答数 460)

形態 渡航年度	日系コロニア	日系進出	伯国系	外国系	平均
36	Cr\$ 17,500	Cr\$ 22,300	Cr\$ 27,500	Cr\$ 29,000	Cr\$ 26,200
37	25,000	18,300	19,300	14,000	17,900
38	14,000	20,300	35,500	18,700	23,300
39	18,000	22,500	26,400	25,600	24,500
40	20,700	25,800	21,400	25,800	24,400
41	21,400	21,100	26,000	25,200	23,200
42	16,200	18,100	20,300	21,400	18,900
43	23,400	21,600	20,900	29,700	23,500
44	37,300	23,000	25,000	28,700	26,500
45	19,700	17,000	19,000	18,900	18,600
46	12,800	16,100	22,900	20,000	18,000
47	15,600	19,400	21,600	18,000	18,300
48	13,800	16,000	18,000	15,300	15,400
49	14,200	15,700	29,100	33,500	19,100
50	15,200	12,400	13,500	12,000	13,600
51	12,500	11,200	14,300	18,000	12,500
52	9,300	13,800	12,600	11,700	11,800
平均	Cr\$ 15,500	Cr\$ 17,400	Cr\$ 22,100	Cr\$ 23,100	Cr\$ 18,400



(3) 担当している主な仕事の内容

回答者611名について例挙すると

1. 機械設計, 製図	132名	21.6%
2. 電機設計, 工場内電気保守, 電話, 発電	101名	16.5%
3. 生産管理, 品質管理, 生産技術	97名	15.9%
4. 工作機械操作, 組立, 保守	75名	12.3%
5. 治工具, 金型, 木型	59名	9.7%
6. 電子弱電機器	55名	9.0%
7. 商業	20名	3.3%
8. 鋳造, 鍛造, 冶金	19名	3.1%
9. 板金, 溶接, 製造	9名	1.5%
10. 土木, 建築	8名	1.3%
11. 農業	6名	1.0%
12. 化学, 薬学	5名	0.8%
13. 水産, 海洋	4名	0.6%
14. その他(学生, 失業, 病気を含む)	21名	3.4%
計	611名	100%

(4) 労働時間

昼の休憩時間をはさみ午前と午後の勤務時間を調査した結果、明確な回答のあった443名の内訳は

午前

8:00~12:00が最も多く119名27%, 次に7:30~12:00, 59名13%, 7:00~11:30 55名12%, 以下, 7:00~11:00, 7:00~12:00, 8:00~12:30

午後

13:00~18:00が最も多く112名25%, 次に13:00~17:30 82名19%, 以下, 12:30~17:30, 13:00~17:00, 13:30~18:00の順である。

週間の勤務日数は481名の回答中、5日制が414名86%であり、14%67名が6日制という回答であった。

なお、ブラジルにおける労働時間数は週48時間となっており、週休2日制のところではこれを5日労働日に割るため、1日当り労働時間は9.5時間程度となるケースが多い。

(5) 独立の希望

将来の自営独立希望の有無に関し明確に回答した者は、428名、既独立者を除く85%の回答率である。

このうち「希望有」と記入した者が234名、55%、「希望無」が、194名となっている。

前回の調査では、179名、回答者の59%が独立の「希望有」としたが、今回の調査までの間相当数の者が希望を実現したと考えて良いであろう。

この独立希望者は渡航年次に関係なく分布しており、また企業形態別でもほぼ均衡している。

独立目標年数を明示した者は167名あり、この約半数84名が5年後を目標にしている。以下3年後が28名、2年後が18名、10年後が15名、1年後1名、4年後4名、6年後3名、8年後2名、7年後及び9年後が各1名である。

### 3. アンケート調査集計結果

#### (1) 就労状況

##### ア 現在の職場に満足していますか

##### (イ) 人間関係(回答数 490)

満足している	173名	35.3%
普通	286名	58.4%
不満足	31名	6.3%

渡航年次が新しい程、不満足と回答した者の率が高い傾向にある。これは末だ伯国社会の慣習に慣れていないことが原因であろう。

前回の調査に比べ満足と回答した者の率が24%から35%に増加し、不満足と回答した者は15%から6%と半分以下に減った。特に日系進出企業に就労している者に満足の場合が増して来た事は、派遣社員との融和に企業自体の努力が払われて来たこととみて良いであろう。

##### (ロ) 仕事の内容(回答数 487)

満足している	180名	37.0%
普通	269名	55.2%
不満足	38名	7.8%

人間関係が不満足と回答した者の大半が仕事の内容についても不満足と回答している。前回の調査に比べ、満足しているという回答が28%から37%に増え、逆に不満足という回答が13%から8%に減少した事は注目すべきである。

##### (ハ) 厚生施設(回答数 492)

満足している	97名	19.7%
普通	240名	48.8%
不満足	155名	31.5%

対比する対象が問題であろうが、満足という回答は前回の15%から20%に増え、不満足が42%から32%に減少した事は各企業ともそれなりの努力がなされつつあると解して良いであろう。

不満足という回答はやはり日系企業に就労している者が多い。

イ あなたの給料は同僚に比べて妥当に評価されていると思いますか。(回答数 480)

妥当と思う	101名	21.1%
普通	281名	58.5%
妥当でない	98名	20.4%

妥当な評価と判断することは難しい事であるが、妥当でないという回答は前回に比べ、7%弱減少した。

渡航年次が新しく転職回数少ない者が妥当という判断をくだしにくい傾向にあることは止むをえないことであろう。

ウ あなたの給料は他社と比較して妥当だと思いますか。(回答数 474)

妥当と思う	81人	17.1%
普通	240人	50.6%
妥当でない。	153人	32.3%

前回の調査に比べ、妥当と思うという回答が2%程度増え、妥当でないという回答が4%程度減少した。

他社の事情を知らない在伯年数の短い者程、妥当でないという判断をくだし勝ちであり、逆に転職回数の多い者程、妥当という判断をくだすことは当然であろう。

エ 現在就労中の企業は能力主義と思いますか(回答数 473)

区分	日系 コロナ企業		日系 進出企業		伯国企業		外国系企業		計	
	名	%	名	%	名	%	名	%	名	%
思う	33	26.2	30	16.9	32	34.8	30	39.0	125	26.4
普通	68	54.0	107	60.1	44	47.8	37	48.0	256	54.1
思わない	25	19.8	41	23.0	16	17.4	10	13.0	92	19.5
計	126	100	178	100	92	100	77	100	473	100

前回の調査に比べ特に目立つ事は能力主義と思わないという回答が全体で4.6%から20%に激減した事である。中でも日系進出企業は5.6%から2.3%となった。

このことはどの形態の企業とも実力さえあれば好待遇が得られるという期待が持たれてきたという事であろう。

能力主義と思うという回答も前回の1.8%から2.6%に増え、日系コロナ企業以外はいずれも大巾に増加した。

オ 転職希望の有無と転職回数

転職の希望有と回答した者は3.6%であり、前回の5.5%から大巾に減少した。転職の

希望は切実な問題として考えている者は少なく、“他社で武者修業してみたい”、“チャンスがあれば”といった軽い気持ちでの回答が多いと思われることを勘案した場合、現就労会社に 落着きをみせていると判断して間違いないであろう。

転職回数の総平均は1.6回という結果が出た。この中には転職回数が10回以上という特殊ケースも数名含まれている。

前回は1.3回であったが3年間で0.3回の増となった。この増は3年間に3人に1人が1回移動した事になるが、回答数が増加したこと、特に前回の所在未確認者からの回答が相当数あったことを考慮するとそれ程多い増加とは判断していない。

昭和50年度より就労先あっせん方式を改め、従来の事業団が直接職種の合致すると思われる企業にあっせんしていた方式から一覧表送付方式により企業に選んでもらい、更に移住希望者自身にも選択してもらうこととしてから定着率は向上しているが、あくまでも書類選考であり、実際に就労してみてもどうしても職種が合わない者も4分の1程度あることは事実である。これらに対する再あっせんも現地支部の重要な業務である。原則として就労1年未満の者に対する再あっせんは行わないが、大半の者は1回転職するのみで落着きをみせ、転々と就労先を変える者はほとんど無くなってきた。

表14 転職状況

(回答者 480)

回数 渡航年度	回数						1人当平均 転職回数
	0	1	2	3	4	5以上	
36	1名	0名	5名	3名	2名	4名	39回
37	3	1	1	1	1	3	29
38	4	3	2	5	3	5	28
39	2	3	2	2	4	2	28
40	2	8	2	5	1	3	23
41	4	9	7	6	2	6	25
42	11	8	3	5	6	5	25
43	7	8	7	3	0	2	17
44	4	8	3	4	4	1	22
45	4	3	3	3	3	5	27
46	6	12	2	5	0	0	12
47	18	8	7	10	2	2	15
48	18	5	7	3	2	1	11
49	15	10	4	3	0	1	1.0
50	12	5	7	1	0	0	0.9
51	26	9	1	1	0	0	0.4
52	36	13	1	0	0	0	0.3
計	173名	113名	64名	60名	30名	40名	16回
%	36%	24%	13%	13%	6%	8%	100%

表15 転職希望状況

(回答者 489)

区分 渡航年度	希望なし		希望あり	
	数	%	数	%
36	16名	100	0名	0
37	6	60	4	40
38	18	82	4	18
39	12	80	3	20
40	16	73	6	27
41	25	67	12	33
42	28	70	12	30
43	16	59	11	41
44	18	75	6	25
45	13	65	7	35
46	13	52	12	48
47	26	54	22	46
48	24	63	14	37
49	21	64	12	36
50	13	52	12	48
51	21	57	16	43
52	28	56	22	44
計	314名	64	175名	36

(2) 技術について

ア 機械施設、工具等は日本と比べてどう思いますか (回答数 359)

進歩している	16名	4.4%
同程度	135名	37.6%
遅れている	208名	58.0%

独立自営者は除外し、現就労会社についてのみ回答を集計した。

進歩していると回答した者は、在伯年数が長くかつ外国系大企業に就労中の者が大半である。前回の3%から若干増加した。

遅れていると回答した者は前回の62%から若干減少し、徐々にではあるが、伯国も世界的水準に近づきつつあると考えられる。

ただし優秀な機械工具の国産化は、思うように行なわれておらず、かつきびしい輸入規制があるため、一挙に日本の水準に達することは不可能であろう。

言いかえればここに日本人技術者の腕を発揮する余地が十分にあるともいえよう。

イ 職種転換の希望はありますか (回答数 451)

希望がある	121名	27%
希望はない	330名	73%

自営独立者を除き27%の者が職種転換の希望ありと回答した。

前回の30%よりやや減少しているが、好待遇が期待できる、いわゆる伯国に不足している職種への転換希望は多い。

ウ 職種転換の経験はありますか (回答数 443)

経験がある	142名	32%
経験はない	301名	68%

経験があると回答した者は32%で前回の38%より若干減少した。

職種転換の経験者は、渡航年次の古い者が圧倒的に多い。これは前回の調査と同じく旋盤工、フライス盤工等の機械仕上げ技能者から設計、製図、生産管理部門への転換である。

近年は高度の技術を有する者のみ入国査証が付与されることから職種転換の希望も少く、経験もほとんど無いのが現状である。

職種転換の内容について、明確な回答のあった79名の内訳は次のとおりである。

以上79名はいずれも、職種転換をしてその結果が良かったとしているが、この他に8名が同じ結果、2名が失敗だったとしている。これら10名の転換の内容は事務系統及び、商業への転換が6名と大半を占めている。

転換前の職種	転換後の職種	人数
機械技能	機械設計	21
機械技能	生産管理	15
機械技能	営業(サービス)	10
機械技能	金型	8
機械設計	生産管理	4
金型	生産管理	3
電気技能	生産管理	3
機械技能	電気技能	2
機械仕上	機械組立	2
機械技能	電子	1
機械技能	熱処理	1
旋盤	研削	1
生産管理	設計	1
電気技能	電子技能	1
旋盤	フライス盤	1
機械設計	空調設計	1
金型	機械技能	1
化学技能	生産管理	1
機械技能	プラスチック	1
建築設計	機械設計	1
計		79

(3) 一般生活について

ア あなたはブラジルに定住しますか (回答数 599)

区分 渡航年数	定住する		まだ判らない		帰国したい	
	人数	%	人数	%	人数	%
36	24名	96%	1名	4%	0名	0%
37	13	100	0	0	0	0
38	25	96	1	4	0	0
39	18	100	0	0	0	0
40	23	92	1	4	1	4
41	43	93	3	7	0	0
42	48	96	2	4	0	0
43	25	81	6	19	0	0
44	25	93	2	7	0	0
45	21	84	4	16	0	0
46	25	85	4	14	0	0
47	60	82	10	14	3	4
48	36	84	7	16	0	0
49	31	66	15	32	1	2
50	24	77	7	23	0	0
51	19	49	19	49	1	2
52	23	45	28	55	0	0
計	483名	81%	110名	18%	6名	1%

渡航後10年以上経過した者については90%以上が定住するとはっきり回答しているが、到着年次の新しい者ほど、まだ解らないと回答した者が多い。  
 帰国したいと回答した者の大半は健康上の理由及び留守家族の関係である。

イ 携行資金

追加送金を含まず、移住時に携行した資金の額である。

総平均は約2,300ドルという数値が出た。渡航年次が新しい程、携行金額が大きくなる傾向が顕著に表われている。52年度渡航者の平均額約6,500ドルは予想より多かった。若い青年であってもその程度の資金を携行できることは、移住当初の住宅、家具、生活費等を考慮すると非常に望ましい事といえよう。

追加送金有と回答した者は27名と少なく平均約5,300ドル、住宅購入資金、独立資金が目的の大半と思われる。

表16 携行資金 (回答数 509)

単位 ドル

渡航年次	平均携行資金	渡航年次	平均携行資金
36	US\$ 767	45	US\$ 698
37	336	46	813
38	289	47	1,580
39	469	48	3,347
40	595	49	4,433
41	490	50	3,322
42	1,250	51	4,483
43	1,133	52	6,511
44	1,631	平均	US\$ 2,301

ウ ブラジル人の親しい友人は何人いますか

日系人以外の親しい友人に対しての回答を期待した。

なしという回答が16%あり前回の4%より大巾に増加した事は、日系進出企業への就労率が高くなったことが原因であろうか。また次第に家庭を持つ者が増加するに従って、付き合いが少なくなったのか、ちょっと理解の出来ない率となった。



表 17 日系以外の友人数 (回答数 593)

区分 渡航年度	5人以上		4～5人		2～3人		なし	
	人	%	人	%	人	%	人	%
36	11	44	3	12	9	36	2	8
37	7	54	5	38	0	0	1	8
38	15	57	2	8	8	31	1	4
39	8	45	2	11	6	33	2	11
40	13	52	5	20	5	20	2	8
41	21	47	9	20	9	20	6	13
42	24	48	7	14	12	24	7	14
43	11	37	6	20	7	23	6	20
44	13	46	5	18	8	29	2	7
45	13	46	3	18	7	29	3	7
46	17	59	2	7	8	27	2	7
47	22	31	14	19	23	32	13	18
48	14	33	9	21	13	30	7	16
49	14	30	8	17	19	40	6	13
50	9	29	8	26	9	29	5	16
51	12	33	5	14	7	20	12	33
52	9	18	7	14	17	35	16	33
計	233名	39%	100名	17%	167名	28%	93名	16%

エ 結婚について

(ウ) 既婚者の配偶者

既婚者455名のうち、443名からの回答が得られた。日本人一世と結婚している者が62%、日系二・三世が27%、非日系人が11%と非日系人の率が若干高くなった程度で前回の調査とほぼ同様の率である。

(イ) 未婚者の結婚観

独身者155名のうち145名から回答があった。日本から呼びたいとした者は13%と前回の17%より更に減少した。

当地で選ぶと回答した者のうち40%は日系人以外或はどちらでも良いとしており、人種にこだわらない現代青年の気質が表われているといえよう。

結婚の時期を具体的にあげた者は約3分の2であった。

表18 あなたの配偶者は？(既婚者)  
(回答数 443)

区分 渡航年度	日本で結婚		呼 寄		当 地 で 結 婚					
	人	%	人	%	日系一世		日系二・三世		日系以外	
					人	%	人	%	人	%
36	11	46	1	4	2	8	8	34	2	8
37	1	8	1	8	2	15	6	46	3	23
38	4	15	4	15	5	19	11	43	2	8
39	3	17	1	6	4	24	8	47	1	6
40	9	37	3	13	8	33	4	17	0	0
41	12	27	5	11	6	14	17	39	4	9
42	10	21	3	6	11	24	18	38	5	11
43	7	26	2	8	9	33	6	22	3	11
44	7	26	2	8	5	18	10	37	3	11
45	5	24	2	10	5	24	6	28	3	14
46	3	14	5	24	2	10	5	24	6	28
47	17	33	5	10	16	31	8	15	6	11
48	9	33	3	11	7	26	4	15	4	15
49	18	64	2	7	1	4	4	14	3	11
50	8	57	0	0	2	14	1	7	3	22
51	9	69	2	15	1	8	1	8	0	0
52	15	82	1	6	0	0	1	6	1	6
計	148人	33%	42人	10%	86人	19%	118人	27%	49人	11%

表19 未婚者の結婚観

結婚の相手は？(回答数 145)		結婚の時期は？(回答数 122)	
日本から呼びたい	19人 13%	1年以内	33人 27%
当地で選ぶ	126人 87%	2年後	31人 25%
日系人	76人 60%	3~4年後	17人 14%
日系人以外	3人 3%	まだ考えていない	41人 34%
どちらでもよい	47人 37%		

オ 日本の留守家族との交通は年間何通程度ですか (回答数 575)

ダイヤル方式となったため国際電話による連絡が急増しており、これも交通に含めた、ほとんど交通無しとした者が83名14.4%あった。

総平均は年間6.3通という結果が出たが、2ヶ月に1回平均というのは決して少ない回数ではないといえよう。

当然のことながら渡航年次の新しい者程回数が多いが、渡航年次の古い者も両親の老令化等があり、かなり頻繁な連絡をとっているようである。

カ 1ヶ月の生活費

今回の調査は記入を容易にするための配慮として、支出項目を少なくし、交通費、教養娯楽費、交際費等はすべて雑費とした。

全体の総平均は、住宅費 2.8千Cr\$, 食費 3.7千Cr\$, 被服費 0.9千Cr\$, 医療費 0.5千Cr\$, 雑費 3.8千Cr\$, 支出額計 11.7千Cr\$ となる。独身者、既婚者別の項目別生活費月額平均は別表のとおりである。

渡航年次に関係なく、未・既婚者を含めて工業移住者は半数の者が住宅を所有し約20万円の給与をとり、約12万円の生活費をかけ、3分の2の者が自家用車を所有しているという像になる。

表20 1ヶ月の生活費平均(独身者) (回答数143) 単位 千Cr\$

区分 渡航年度	住宅費	食費	衣料費	医療費	雑費	計
36	0	5	1.0	0.5	2.0	5.0
37	-	-	-	-	-	-
38	-	-	-	-	-	-
39	0	4.0	0.5	0.5	5.0	10.0
40	1.0	3.0	1.0	1.1	3.8	9.9
41	5.0	4.0	1.0	0.5	8.5	19.0
42	1.0	4.8	0.7	0.4	0.3	7.2
43	2.0	3.3	1.0	0.5	0.8	7.6
44	2.5	2.0	0.5	0.2	4.8	10.0
45	3.2	1.6	0.5	2.7	3.3	11.3
46	2.4	2.9	0.7	0.1	3.6	9.7
47	2.0	2.6	0.5	0.2	3.9	9.2
48	2.3	2.0	0.6	0.2	3.3	8.4
49	2.2	2.2	0.5	0.2	3.6	8.7
50	1.8	2.2	0.4	0.3	3.8	8.5
51	1.0	1.9	0.4	0.1	2.8	6.2
52	1.2	1.8	0.3	0.1	2.7	6.1
平均	1.7	2.2	0.5	0.2	3.3	7.9
%	21%	28%	6%	3%	42%	100%

≒80.2千円

表 21 1ヶ月の生活費平均(既婚者) (回答数 413)  
 単位 千Cr\$

区分 渡航年度	住宅費	食費	衣料費	医療費	雑費	計	
36	2.8	5.9	1.6	1.0	5.7	17.0	
37	1.7	4.2	1.0	0.5	3.5	10.9	
38	2.0	4.9	1.4	0.8	4.2	13.3	
39	3.0	5.1	1.1	0.7	5.8	15.7	
40	2.4	4.9	1.2	0.8	5.1	14.4	
41	2.9	4.7	1.0	0.6	3.7	12.9	
42	3.1	3.9	0.9	0.5	4.2	12.6	
43	3.0	4.8	1.1	0.5	4.0	13.4	
44	4.3	4.9	1.4	0.6	5.0	16.2	
45	4.2	3.6	1.6	1.0	3.4	13.8	
46	3.0	3.8	1.1	0.6	3.0	11.5	
47	4.1	4.0	1.0	0.7	4.2	14.0	
48	2.9	3.6	0.9	0.5	3.1	11.0	
49	3.9	2.7	0.9	0.5	4.1	12.1	
50	3.2	3.3	0.4	0.5	2.5	9.9	
51	2.7	3.4	1.0	0.4	3.9	11.4	
52	3.3	4.2	0.9	0.6	2.4	11.4	
平均	3.2	4.2	1.1	0.6	4.0	13.1	約133千円
%	24%	32%	8%	5%	31%	100%	

キ 1ヶ月の住宅費 (回答数 454)

F・G・T・S (退職基金積立金)の払込みが5年過ぎると、B・N・H (住宅銀行)から有利な住宅購入資金の融資を受ける資格を有するため、在伯年数の長い者程この制度を活用する傾向にある。

平均住宅費の支出額は分割払月額平均Cr\$4,700、賃借Cr\$3,300、間借Cr\$1,600下宿、賄付Cr\$2,000、食事なしCr\$800という結果が出た。総平均はCr\$3,500である。

表22 住宅費平均支出額

単位 千Cr\$

区分 渡航年度	分割払込	借 家	間 借	下 宿	
				食 事 付	食 事 な し
36	5.7	3.6	-	1.5	-
37	2.7	2.2	-	-	-
38	4.4	3.3	-	-	-
39	7.5	2.3	-	-	-
40	5.6	3.1	1.0	-	-
41	4.0	3.2	-	-	-
42	3.9	3.8	-	-	-
43	4.6	4.7	-	-	-
44	6.1	2.7	-	-	-
45	5.2	2.5	1.0	-	-
46	3.3	3.6	1.0	-	1.6
47	5.5	3.4	1.2	2.1	1.7
48	3.2	3.4	1.6	2.2	0.9
49	4.8	3.7	2.8	1.7	0.8
50	5.2	2.7	2.0	1.4	1.1
51	5.0	3.3	1.3	1.9	0.4
52	4.0	2.8	1.4	2.8	1.8
平 均	千Cr\$ 4.7	千Cr\$ 3.3	千Cr\$ 1.6	千Cr\$ 2.0	千Cr\$ 0.8

ク 借家の契約方法について (回答数 213)

借家に居住していると回答した者216名のうち、213名から契約方法についての回答があった。

保証人あり	158
会社で世話	44
知 人	112
保証業者	2
保証人なし	55
要敷金	10
一切不要	45

就労企業が保証して借家する者の数は、渡航年次が新しい程増加する傾向にある。

保証人一切不要という例は地方都市に多い。

ケ 自家用車

全体で3分の2の者が乗用車を所有しているという結果が出た。2台以上所有している者も35名おり、これを合わせると、3年以上在伯している者は77%の所持率となる。年式は、76年77年と新しく、車種はフォルクスワーゲン系が圧倒的に多い。

表 23 自家用車所有状況

区分 渡航年度	持っている		持っていない		2台以上 所有者	
	人	%	人	%		
36	21	84	4	16	6	(車種)
37	10	77	3	23	1	GM系 29%
38	23	88	3	12	1	FORD系 18%
39	13	65	7	35	4	V・W系 45%
40	21	81	5	19	0	クライスラー系 4%
41	37	79	10	21	4	FIAT系 2%
42	44	86	7	14	5	その他 2%
43	26	84	5	16	1	
44	22	76	7	24	3	
45	22	79	6	21	2	
46	21	72	8	28	2	
47	53	73	20	27	2	
48	25	58	18	42	1	
49	29	62	18	38	3	
50	14	44	18	56	0	
51	12	30	28	70	0	
52	15	29	36	71	0	
計	408	67	203	33	35	

コ 趣味

工業移住者が、どのようにして余暇を過しているか調査してみた。複数の趣味を回答した者も延として累計すると下記のとおりとなる。

(ア) スポーツ(野球, ゴルフ, 水泳, テニス 等)	115	18%
(イ) 読 書	116	18%
(ウ) 釣 (川釣, 海釣)	130	20%
(エ) 麻雀	82	13%

(カ) 旅行(ドライブを含む)	69	11%
(ク) 音楽(実技, 鑑賞)	59	9%
(ケ) 碁, 将棋	25	4%
(コ) その他(盆栽, 画, 映画, 酒等)	44	7%

釣という回答が最も多かった。これはドライブを兼ねての遠出と思われ、魚が豊富な事も一因であろう。

スポーツで最も多いのは野球と水泳である。

読書はほとんどが邦字書であり、文化協会、工業移住センター等から貸出しを受ける者の他、新刊図書、雑誌の購入も多い。

麻雀と回答した者が予想以上に多かった。これは4人でゲームを楽しみながら情報交換の場ともなっていると思われる。

旅行はブラジルに居るのだから、北から南までブラジルを知りたいという願望が含まれている。

サ 子供の学校教育について

回答数258のうち、ブラジルの学校教育の他に日本語教育もしていると回答した者が61%あった。

日本語教育の必要性が議論されている折から、61%という数値は若干低いように思われる。しかし、正式に日本語学校に通学しておらず、家庭で教育をしている者は回答しなかったとも推定される。

表24 子供の学校教育

(回答数 258)

区分 渡航年度	ブラジル語のみ		ブラジル語と日本語	
	数	%	数	%
36	4	21	15	79
37	3	27	8	73
38	12	55	10	45
39	7	44	9	56
40	9	50	9	50
41	16	44	20	56
42	8	30	19	70
43	3	18	14	82
44	5	31	11	69
45	6	50	6	50
46	3	33	6	67
47	8	40	12	60
48	5	50	5	50
49	6	46	7	54
50	1	33	2	67
51	1	33	2	67
52	4	67	2	33
計	101	39%	157	61%

シ 家庭での使用言葉

家庭内でなるべく日本語を使用している率は、渡航年次が新しい程少くなり、逆に日本語のみという回答は多くなっている。

これは、子供に家庭内で日本語を教えようという努力が原因とも考えられる。

日本語のみ使用しているという者は、前回の53%から34%へと、20%近く減少した。

ブラジル語のみという回答は、前回調査とほぼ率において変りないが、大半が日系人以外と結婚している者である。

表 25 家庭内での使用言葉

(回答数 470)

区分 渡航年度	ブラジル語		なるべくブラジル語		なるべく日本語		日本語のみ	
	数	%	数	%	数	%	数	%
36	1	5	1	5	14	63	6	27
37	5	38	0	0	7	54	1	8
38	3	12	3	12	18	69	2	7
39	1	6	2	13	10	62	3	19
40	0	0	5	22	11	48	7	30
41	8	18	5	12	23	52	8	38
42	6	13	3	6	24	50	15	11
43	4	14	1	4	12	43	11	39
44	4	16	4	16	9	36	8	32
45	4	18	4	18	5	23	9	41
46	7	32	3	13	5	23	7	32
47	8	15	8	15	24	44	14	26
48	4	12	3	9	13	38	14	41
49	4	13	1	3	6	20	19	64
50	2	14	2	14	4	29	6	43
51	1	5	2	10	1	5	15	80
52	2	7	8	27	3	10	17	56
計	64	14%	55	12%	189	40%	162	34%

ス ブラジルで教育を受けたことがありますか。(回答数 538)

受けたことがある 151人 28%  
家庭教師についた 39人 7%



受けたことはない 348人 65%

本設問は主として語学の習得方法について調査することを目的としたが、正式な学校への通学または、家庭教師により習得した者は35%にとどまった。

その他の者は、職場において或は友人との交際で語学を習得したと思われる。

セ 現在の語学の程度は？

語学の程度の一つの目安として4つの設問をした。

この結果、3年経つと大半の者が日常生活に不自由なくなり、5年経つと4分の3の者が仕事上不自由しなくなり、10年経つと約80%が、15年経つと約90%の者が仕事上不自由を感じない語学程度になるといえよう。

前回調査に比べ新聞を読解出来ると回答した者が9%から20%に増加し、仕事上不自由しないという回答は、47%から51%に増えた。

表26 現在の語学の程度

(回答数 578)

区分 渡航年度	新聞を読解できる		仕事上不自由なし		日常生活に不自由なし		日常生活にも困る	
	数	%	数	%	数	%	数	%
36	7	32	13	59	2	9	0	0
37	5	38	7	54	1	8	0	0
38	16	64	7	28	1	4	1	4
39	3	18	12	70	2	12	0	0
40	9	36	12	48	3	12	1	4
41	11	23	29	62	6	13	1	2
42	16	32	26	52	7	14	1	2
43	7	23	19	64	3	10	1	3
44	8	30	14	52	5	18	0	0
45	8	29	14	50	6	21	0	0
46	5	18	15	56	6	22	1	4
47	6	8	49	68	16	22	1	2
48	6	14	25	60	11	26	0	0
49	4	9	25	58	11	26	3	7
50	1	3	17	57	12	40	0	0
51	1	3	4	11	21	56	11	30
52	0	0	6	14	26	60	11	26
計	113	20%	294	51%	139	24%	32	5%

ソ 職場で語学に不自由しない程度になるのに要した年月は？

自分自身の他、同僚、部下等の語学習得状況を観察できる、在伯10年以上の者のみを対象として集計した。

1年位	14人	6%
2年	19人	9%
3年	127人	56%
4年以上	66人	29%

4年以上を5年と仮定した場合、平均で3.3年を要するという結果になる。

タ Revalidação (資格取得)について

設問が(A) エンジェネイロ(エンジニア)の資格を取得した。(B) 取得手続中、(C) 関心なし の3つであり、関心があるという質問が脱落していた。

日本の大学卒業者の大半がRevalidação について関心があると思われる。

すでに資格を取得した者は8名、目下手続中の者48名という回答があった。

チ 配偶者の分も含めて副収入はありますか

回答数550のうち副収入があると回答した者は92名、約17%であった。

仕事の内容は、設計、製図、電気器具の修理等が最も多い。

最高額は、月額Cr\$24,000、最低Cr\$1,000で平均は、Cr\$5,400である。

配偶者の収入の大半はパートタイマーと思われるが数は少ない。

ツ 訪日について

“訪日したことがある”、“訪日を予定している”という二つの設問があったが、この設問に回答しなかった者は“予定していない”と仮定した。訪日したことのある者は34%である。

しかし、回答のなかった者の中には記入洩れもあると思われ、実際には訪日した者の率は、40%近くになるのではなからうか。

表 27 訪 日 経 験 (回答数 611)

区 分	訪日したことがある			予定している		予定なし	
	数	%	平均滞在年	数	%	数	%
36	18	72	10.6	4	16	3	12
37	3	23	8.7	7	54	3	23
38	10	38	9.2	14	54	2	8
39	10	50	8.9	5	25	5	25
40	15	58	5.8	7	27	4	15
41	26	55	6.8	12	26	9	19
42	20	39	5.5	19	37	12	24
43	13	42	6.2	9	29	9	29
44	13	45	5.6	10	34	6	21
45	13	47	4.1	6	21	9	32
46	9	31	5.4	16	55	4	14
47	25	34	3.6	39	54	9	12
48	11	26	2.6	23	53	9	21
49	16	34	2.3	18	38	13	28
50	5	16	2.6	18	56	9	28
51	4	10	1.5	22	55	14	35
52	2	4	1.0	24	47	25	49
計	213人	34%	5.7年	253人	42%	145	24%

テ 病気になる場合利用する病院は？

(家族を含めて、複数の病院を利用する者は併記)

1. I.N.P.S 病院を利用	174名	26%
2. 企業の医療施設を利用	257名	38%
3. 個人の病院を利用	217名	33%
うち日系	60%	
日系外	40%	
4. 援協病院を利用	20名	3%

(4) 移住その他について

ア 移住して良かったと思えますか

移住して良かったという回答は67%、前回の調査と同率である。

良かったと思う理由は、“若しやすい”、“自由な生活が出来る”がほぼ同率で、両者で70%を占めている。気兼ねのいらぬ食生活が豊かな暮らしが出来るということであろうか。

まだ解らないという回答の理由としては“まだ、ブラジルにおける生活が短いため判断出来ない”というのが圧倒的に多いが、“日本の現状が解らないので比較出来ない”という理由も散見された。

いずれ帰国したいと回答した者は、3、(3)、ア、永住希望に関する回答と同様、健康上の理由及び家族関係の問題である。

イ 工業移住者協会について

昭和53年度に工業移住者の親睦、連絡のための団体として発足した工業移住者協会に対する関心度を調査した。

ロ 協会が設立されたことを知っていますか

知っている	371人	65%
知らない	201人	35%

日系新聞等を利用して啓発につとめた結果、65%の者が、設立されたことを知っていた。

ただし、本調査の回答者には全員機関紙を発送したので、現時点では全員設立されたことを知っていると解して良い。

リ 協会の運営について (回答数 566)

積極的に参加したい	33人	6%
出来るだけ協力したい	458人	81%
関心がない	75人	13%

“関心がない”という回答が調査時点で13%に止ったことは満足すべき率と思われる。

表 28 移住して良かったと思うか

(回答数 599)

区分 渡航年度	良 かった		まだ判らない		いずれ帰国したい	
	数	%	数	%	数	%
36	22	92	2	8	0	0
37	11	85	2	15	0	0
38	21	84	3	12	1	4
39	15	79	4	21	0	0
40	16	61	9	35	1	4
41	39	83	8	17	0	0
42	38	75	13	25	0	0
43	20	65	9	29	2	6
44	22	81	5	19	0	0
45	20	71	8	29	0	0
46	20	69	9	31	0	0
47	47	67	21	30	2	3
48	27	63	16	37	0	0
49	24	52	20	44	2	4
50	21	70	9	30	0	0
51	20	51	17	44	2	5
52	15	29	32	63	4	8
計	398人	67%	187人	31%	14人	2%

表 29 移住して良かったと思ひ理由

(回答数 312)

理 由	回答数	回答率
1. 暮らしやすい	111名	35.6%
2. 可能性, 将来性がある	68名	21.8%
3. 自由な生活が出来る	108名	34.6%
4. 独立がしやすい	25名	8.0%

今後は積極的に参加する世話役的な人が少くとも20%になるよう内容を充実することが課題であろう。

(ウ) 協会に望むこと

明確な回答のあった数は111である。

最も多い要望は種々情報交換の機会をもち、技術研鑽の場にすべきとする者が37人、次に何よりも永続性のある団体であってくれとする要望が34人である。

その他、サン・パウロ市のみでなく地方在住者とも接触してほしいとする者、機関紙の発行回数を増やしてくれとする者、協会自体もっとPRすべきとする者が多かった。

この工業移住者協会に関する関心度、要望等の調査は更にくわしく行なう必要がある。

ウ 後続移動者へのアドバイス

- しっかりした技術を身につけてくること 98人
- 出来る限り言葉を勉強してくること 64人
- 強固な意志と自立心が必要 28人
- 現地の事情をよく把握してくること 27人
- 余り深刻にならず、気軽な気持が必要 25人

回答数267のうち、上記のアドバイスがベストファイブを占めた。

その他多かったアドバイスは

健康が第一。若いうちに移住すべき。資金をもってくる。出来るだけ専門図書を携行すること。趣味を身につけること。等である。

エ 移住70周年に関して (回答数 583)

昭和53年は、ブラジル移住70周年にあたり、各種行事が盛大に開催されたが、戦前移住の一世が中心であり、戦後移住者は余り関心が無いのではないかという風評があるため、工業移住者についてその関心度を調査した。

関心がある	182名	31%
余り関心がない	331名	57%
全く関心がない	70名	12%

全く関心がないという回答は12%で、在伯年数の短い者程多いという結果が出た。

関心があるとした者は31%に過ぎない。将来80周年更に100周年となった場合関心度はどう変化するのであろうか。

オ あなたは事業団の事務所を訪問したことがありますか (回答数 581)

訪問したことがある	385名	66%
行きたいが暇がない	112名	19%
行く用件がない	84名	15%

移住直後は事業団の方から巡回相談のため職場を訪問するが、その後年月を経て事業団

との直接の繋がりは薄くなって行く。

事業団の事務所を訪問する用件としては転職希望再あっせん、妻の呼寄、商工業融資の相談等のほか近況報告があるが“近くまで用事があったので近況報告に来た”というように気軽に訪問出来る雰囲気にしたいたいものである。

カ 事業団に対する要望事項

- 独立援助融資枠の拡大と融資手続の簡素化 53人
- 移住相談の折もっと最新のブラジルに関する情報を知らせるべき 43人
- 技術専門図書を工業移住センターに充実してもらいたい 35人
- 後続移住者の送出に努力してほしい 23人
- 工業移住センター施設を活用して語学、その他の講習をしてほしい 18人

以上がベスト・ファイブでその他多かったのは、外国系企業へのあっせんに努力してもらいたい、派遣職員の任期を長くすべきである、再あっせん等のアフターケアに努めてもらいたい、等である。

〔附 表〕

1. 調査回答者 就労企業一覽表

(1) 日系進出企業

番号	会社所在地	会社名	会社名	社名	業	頁	回答者数
1	Mogi das Cruzes (S. Paulo)	東和工業	HOWA S.A. Indústrias Mecânicas	Cerâmicas e Vela de Ignição N.G.K. do Brasil S.A.	磁器機械品製造	21	21
2	Mogi das Cruzes (S. Paulo)	N.O.A.	NEC do Brasil Eletrônica e Comunicações Ltda		電気交換機、保守、修理部行	14	14
3	Guarulhos (S. Paulo)	日本電気	C. B. O. Indústrias Pesadas S.A.		ボイラー、電気機器、機械器具	13	13
4	Capitai (S. Paulo)	C.B.O.重工業	YAMAHA Motor do Brasil Ltda		オートバイ、駆動機、発電機	11	11
5	Guarulhos (S. Paulo)	ヤマハモーター	YANMAR do Brasil S.A.		ディーゼルエンジン、発電機、環境機	8	8
6	Indaiatuba (S. Paulo)	ヤマハモーター	D. B. O. Indústrias Pesadas S.A		ボイラー、電気機器、機械器具	8	8
7	Vargem (Minas Gerais)	C.B.O.重工業	NATIONAL do Brasil Ltda.		カラートレシ、ステレオ、録音機、複製機	7	7
8	São José das Campos(S. Paulo)	ナショナル電気	TOSHIBA do Brasil S.A.		中小型冷蔵庫、洗濯機、電気扇	7	7
9	Capital (S. Paulo)	東 芝	KOMATSU Brasil S.A.		ブルドーザー、機械部品	7	7
10	Suzano (S. Paulo)	小松製作所	Indústria Eletrônica SANYO do Brasil Ltda.		ラジオ、カーラジオ、カテープレジ	6	6
11	Capital (S. Paulo)	三洋電子	DAEWU Telecomunicações S.A.		公共電話機、複製機	5	5
12	Capital (S. Paulo)	ダウ工業	C. B. O. Indústrias Pesadas S.A.		ボイラー、電気機器、機械器具	5	5
13	Jundiaí (S. Paulo)	C. B. O.重工業	YAKULT S.A. Indústrias e Comercio		乳酸菌飲料ケトル、缶等	4	4
14	São Bernardo do Campo(S. Paulo)	ヤクルト工業	TOYOTA do Brasil S.A. Indústria e Comercio		自動車、農業機械部品	3	3
15	São Bernardo do Campo(S. Paulo)	トヨタ自動車	SUPERFINE Mecano-Peças Indústria Geral Ltda		自動車、農業機械部品	3	3
16	Capital (S. Paulo)	朝日精機	MAYNWA do Brasil Refrigeração Ltda.		商業用冷蔵庫	3	3
17	Diadema (S. Paulo)	朝山崎機	DAIDO do Brasil Industrial Ltda		ローラーチェーン、コロンブアチェーン	3	3
18	Taubaté (S. Paulo)	大同工業	BOVIEL-YOWA Construções Telefônicas Ltda.		電気通信機器設計、施工、保守	3	3
19	Capital (S. Paulo)	ボビエル機和	SONY do Brasil Ltda.		音響機器、時計、玩具、修理	3	3
20	Capital (S. Paulo)	ノーエ電子	ATA COMUSTAO Tecnica S.A		ボイラー、バーナー、電気機器	3	3
21	Petrópolis (Rio de Janeiro)	フタ コノアスト	NOVEL-YAMATOW S.A. Engenharia e Instalações		電気、計装、空調設備施工	2	2
22	Capital (S. Paulo)	ビビエルマート	KUHOTA TERKO do Brasil Indústria e Comercio Ltda		調理機、小型ディーゼルエンジン	2	2
23	Diadema (S. Paulo)	八佰田工業	HITACHI LINE Indústria Elétrica S.A.		空調機、電気機器	2	2
24	São José dos Campos (S. Paulo)	日立タイ	TENDU Brasileira Indústria e Comercio de Moveis Ltda.		アルミ加工製品	2	2
25	Taubaté (S. Paulo)	天華工業	FURUKAWA Industrial S.A. Produtos Elétricos		電気機械設備設計施工	2	2
26	Curitiba (Paraná)	台樹工業	JAMIO Imigração e Colonização Ltda.		移民業務	2	2
27	Capital (S. Paulo)	日立盛和	Fertizimantes MITSUI S.A. Indústria e Comercio		化学肥料、化成機(コリーノ)	2	2
28	Capital (S. Paulo)	国際協力事業団	ISHIKAWAJIMA de Brasil Estaleiros S.A. ISHIBRAS-		クレーン製作、修繕、電気機械	2	2
29	Pocos de Caldas (S. Paulo)	日立盛和	FUJI Photo Film do Brasil Ltda.		カラー写真(保守)	1	1
30	Rio de Janeiro (Rio de Janeiro)	三井肥料	SUGA BRAS Construção Brasil Ind. e Com Ltda.		建築機械設備設計、施工	1	1
31	Capital (S. Paulo)	石川島	Eletrodos TORSIMA S.A		銅電棒、鉄粉	1	1
32	Capital (S. Paulo)	フジフィルム現像所	SEIDENSHA Eletrônica do Brasil Ltda		工業用計測(プラスチック)	1	1
33	Capital (S. Paulo)	スガ プラス	TOSHIBA MEDICAL de Brasil Ltda		医療機器輸出入	1	1
34	Capital (S. Paulo)	トルンマ機修	INFASA - Indústria Química Paulista S.A		合成皮革	1	1
35	Capital (S. Paulo)	セイデンシャ	TOYOBO do Brasil S.A. Fiação e Tecelagem		絹糸、ポリエステル糸、混糸	1	1
36	Salto (S. Paulo)	東芝機器					
37	Americana (S. Paulo)	パクリス化成					
		東洋紡					

番付	会社所在地	会社名	会社名	業	種	国	符	者	数
38	Capital (S. Paulo)	ナシオナル銀行	NATIONAL do Brasil Comercial Ltda.	ナシオナル銀行	ナシオナル銀行	1			1
39	Ribeirão Pires (S. Paulo)	N.H.K. ファスター	N.H.K. Fastener do Brasil Ind. Com. Ltda.	工業用ファスター	工業用ファスター	1			1
40	Capital (S. Paulo)	豊田通商	Sociedade Comercial TOYODA TSUSHO do Brasil Ltda.	繊維製品輸出入	繊維製品輸出入	1			1
41	Capital (S. Paulo)	ニセイ産業	NISSEI SANGYO do Brasil Ltda.	電子部品輸出入	電子部品輸出入	1			1
42	Jacareí (S. Paulo)	伊藤特殊	IKK do Brasil Indústria e Comercio Ltda.	スチールパイプ、スチールグリット(研削材)	スチールパイプ、スチールグリット(研削材)	1			1
43	Mairinque (S. Paulo)	チカラ・エレメント	TAKARA BELMONT-PI/America do Sul Ind e Com. de Novas	電池、電池器具、電池器具	電池、電池器具、電池器具	1			1
44	Arujá (S. Paulo)	フアンガ化学工業	PATCO Química Industrial S.A.	ビタミン、ワタチン、医薬品	ビタミン、ワタチン、医薬品	1			1
45	Poá (S. Paulo)	プラクワン・機械	BRASILIANA Produções Teste S.A.	各種紡織、ニット	各種紡織、ニット	1			1
46	Gusulhos (S. Paulo)	アトランチカ皮革	Indústria de Couros ATLANTICA S.A.	皮革製品(靴、靴、ハンドバッグ、ベルト)	皮革製品(靴、靴、ハンドバッグ、ベルト)	1			1
47	Ponta Grossa (Paraná)	名産紡織	Otonifício KURASHIKI do Brasil Ltda.	綿織物、綿織物	綿織物、綿織物	1			1
48	Simões Filho (Bahia)	サフロン・輸入	SAPFON-TEIJIN S.A. Indústrias Brasileiras de Fibras	ポリエステル	ポリエステル	1			1
49	São Bernardo do Campo (S. Paulo)	レイクサイド・コンクリート	LAKE SIDE Country Club	ゴルフ場	ゴルフ場	1			1
50	Capital (S. Paulo)	山内建設	SANKYU do Brasil Construções Ind. e Com. Ltda.	一般建築、産業機械銀行	一般建築、産業機械銀行	1			1
51	Belo Horizonte (Minas Gerais)	伊藤芝商事	O. ITOH do Brasil S.A.	銀行、金融、化学品、輸出入	銀行、金融、化学品、輸出入	1			1
52	Rio de Janeiro (Rio de Janeiro)	東京銀行	BANCO de TOKYO S.A.	銀行業務	銀行業務	1			1
53	Capital (S. Paulo)	丸紅商事	MARUBENI Brasil S.A.	農水産物、炭鉱石、輸出入	農水産物、炭鉱石、輸出入	1			1
54	Capital (S. Paulo)	日清貿易	NISSHIN SEIFUN do Brasil Ind e Com. Ltda.	肥料用タンク、穀物サイロ	肥料用タンク、穀物サイロ	1			1
55	Rio de Janeiro (Rio de Janeiro)	国際協力事業団	JAMIC Imigração e Colonização Ltda.	移民業務	移民業務	1			1
56	Recife (Pernambuco)	国際協力事業団	JAMIC Imigração e Colonização Ltda.	移民業務	移民業務	1			1
57	Capital (S. Paulo)	東京銀行	BANCO de TOKYO S.A.	銀行業務	銀行業務	1			1
58	Resende (Rio de Janeiro)	チカラフィルム	Companhia Brasileira de Filmes SAKURA	写真フィルム	写真フィルム	1			1
59	Guaratapes (S. Paulo)	トーマン製鋼	Oleas MENÚ Indústria e Comercio Ltda.	食用油、油脂	食用油、油脂	1			1
60	Camaçari (Bahia)	三菱レーヨン(ブラジル)	POLIALDEN Petroquímica S.A.	ナイロン繊維	ナイロン繊維	1			1
61	Camaçari (Bahia)	三菱レーヨン(ブラジル)	PISIDA-FIBRAS Sintéticas de Bahia S.A.	合成繊維	合成繊維	1			1



(2) 日系コロニア企業

番号	会社所在地	会社名	会社名	業	員数 (の割合)	国籍 (の割合)
1	Embú (S. Paulo)	サンヌイ プラスチック	SANSUY S. A. Indústria de Plásticos	プラスチック玩具、エンセラー、ノート	14	
2	Capital (S. Paulo)	グラスライト プラスチック	GLASLITE Indústria de Plásticos Ltda.	プラスチック玩具、家庭用品	10	
3	Capital (S. Paulo)	モトラジオ工場	MOTORADIO S.A. Comercial e Industrial	各種ラジオ、音響機器アクセサリー	8	
4	Capital (S. Paulo)	宿務製造	Fundição YADOVA S. A. - FUNDOYA	銅板、銅板	5	
5	Capital (S. Paulo)	ブロンクス	DENFARRAS Eletrotelcomunições Ltda.	電話設備、設計工事	5	
6	Capital (S. Paulo)	K.M. モンターヴェス	Engenharia Transportes K.M.e montagens Ltda.	電気設備設計工事	5	
7	Capital (S. Paulo)	サニー電機	SANNY-Comercial e Instaladora Ltda	電気工事、設計工事	5	
8	Diadema (S. Paulo)	中田組	NAKATA S. A. Indústria e Comercio	自動車部品(タイロッド、ボールジョイント、キングピン)	5	
9	Capital (S. Paulo)	エレナック電機	ELMEX-Indústria Eletromecânica Ltda.	発電機、自動制御機	4	
10	Capital (S. Paulo)	シネマック電機	JATIC Eletromecânica Indústria e Comercio S. A	電気、配管、空調工事	4	
11	Itaguai (Rio de Janeiro)	南米鉄鋼製造	Fundição Técnica SUL AMERICANA Ltda.	特殊鋼部品、木材、金具	4	
12	Capital (S. Paulo)	西原エンジニアリング	MIYAKOJIMA S. A. Instalações Industriais	空調工事、配管工事、設計工事	4	
13	Capital (S. Paulo)	ブリタック	FUJIBO Indústria Metalúrgica Ltda	機械部品加工、タービンエンジン部品	3	
14	Capital (S. Paulo)	エレクトロプラネット	ELETROPLANET Ltda.	電気工事、計測工事	3	(10)
15	Mogi das Cruzes (S. Paulo)	ニュータイ	KONIKS S. A	機械、電気設計事務所	3	(4)
16	Capital (S. Paulo)	ニュータクプラスチック	Indústria de Plásticos NEW-TEC JUN-INOHARA Ltda	プラスチック製品一式	2	
17	Capital (S. Paulo)	ニュータイ	Indústria Eletrônica e Comercio Ltda	玩具用マイクロモーター	2	
18	Guarulhos (S. Paulo)	サトウ電球	Indústria de Lâmpadas SAIKOKIN S.A	放射電球、特殊電球	2	
19	Capital (S. Paulo)	サラン建設	Construtora POIX Ltda	土木、造成、建築工事	2	
20	Capital (S. Paulo)	チルネブラン	THERMOPLAN Plásticos Ltda	空調機設計工事	2	
21	Capital (S. Paulo)	東山電機	MONTE DESTE Indústria e Comercio de Materiais Eletriais	適用用ケーブル、特殊電線	2	
22	Capital (S. Paulo)	シンクロノイズ工業	Metalúrgica SINKRONAIZU Ltda.	工作機械部品加工、スクラップ	2	(5)
23	Capital (S. Paulo)	小松設計事務所	MASUZO KOIKE & CIA Ltda.	産業機械設計製作	2	(2)
24	Capital (S. Paulo)	シオン工業	SION Indústria e Comercio de Ferramentaria Ltda	プラスチック金型設計製作	1	(2)
25	Capital (S. Paulo)	チャリー電子	Indústria Eletrônica CHERRY S. A.	コンデンサー、自動車部品	1	(2)
26	Capital (S. Paulo)	ブラネカ工業	BRASNECA Brasil Equipamentos Mecânicos Ltda.	特殊機圧機設計製作	1	(2)
27	Capital (S. Paulo)	アグリトップ製菓	AGRI TOP S/C Ltda.	土木測量一式	1	(2)
28	Jundiaí (S. Paulo)	K.N. シンクヴェス	K. N. Montagens Industriais Ltda	産業機械設計	1	
29	Capital (S. Paulo)	デインクニック電機	DIGITEO Comercio e Importação Ltda	ラジオ、TV、電気機器修理販売(三洋)	1	
30	Diadema (S. Paulo)	和田製作所	Indústria Mecânica WADA Ltda	工作機械、自動車部品加工	1	
31	Capital (S. Paulo)	三友電機	SANYU Corretagem de Seguros Ltda.	一般保険業務	1	
32	Capital (S. Paulo)	大石電機	MITSUBUSHI OISHI & CIA Ltda.	ラジオ、TV、電気部品修理	1	
33	Capital (S. Paulo)	ポリスピ電機	POLISPIN Indústria e Comercio Ltda.	製菓器具、家庭用品、機械部品	1	
34	Capital (S. Paulo)	和名機械	IKEMORI S. A. Indústria e Comercio de Maquinas	製菓機一式、ダボロール紙	1	
35	Capital (S. Paulo)	山崎電子	Eletrônica YAMAZAKI Ltda.	シリコンエレクトロニクス、電子部品	1	
36	Capital (S. Paulo)	チトラエンジニアリング	TETRAENG Sociedade de Engenharia Ltda.	工機、各種設計加工	1	

番号	会社所在地	会社名	会社名	社名	業	種	資本額 (英鎊、百鎊を基)
37	Capital (S. Paulo)	三井電氣	Eleiro Montagens SANKYU Ltda.	Electronics Ltda.	電機工器設計加工	1	
38	Basilia (Distrito Federal)	シムス電設	SIBL Sociedade Instaladora de Equipamentos Eletricos e	Electronicos Ltda.	電機工器設計加工	1	
39	Capital (S. Paulo)	ペナリスチ新開	Jornal PAULISTA Ltda.		印刷新聞	1	
40	Capital (S. Paulo)	南米銀行	BANCO AMERICA do SUL S. A.		銀行業務	1	
41	Capital (S. Paulo)	アルゴアレイレコード	ALTAFLAY Comercio e Representação Ltda.		レコード、カセット所持販売	1	
42	Capital (S. Paulo)	ニセ工電工	NISSEI S. A. Indústria e Comercio		各種ラジオ、カーラジオ	1	
43	Capital (S. Paulo)	金子工業	Metalúrgicas KANEKO Ltda.		電機機器加工	1	
44	Indaiatuba (S. Paulo)	製鉄工所	KAJIHARA Indústria e Comercio de Maquinas Ltda.		工作機械、ダイヤモンドエングジンの製造加工	1	
45	Capital (S. Paulo)	佐藤メカキ	K. SATO & CIA Ltda		クロム、亜鉛、銅、メッキ	1	
46	Capital (S. Paulo)	セイキ工業	SBIKI Indústria Mecânica Ltda.		電子部品	1	
47	Sao José dos Campos (S. Paulo)	I. B. B. 不動産	I. B. B. Imoveis Ltda.		土地建設、不動産	1	
48	Capital (S. Paulo)	ブシキ工業	Indústria Eletrônica DENKY Ltda.		電子部品	1	
49	Capital (S. Paulo)	F. K. 印刷機	P. K. Equipamentos para Escritorio Ltda.		事務機器製造販売	1	
50	Capital (S. Paulo)	大和工場	Marcenaria Decorações YAMATO Ltda		家具、商店用装	1	
51	Capital (S. Paulo)	若狭電気店	Jorge TANIHARA Eletronico		ラジオ、TV、電機機器修理	1	
52	Capital (S. Paulo)	トレードアラス輸出	TRAD BRAS S. A. Importação e Exportação		輸出入商会(輸貨、電機部品)	1	
53	Capital (S. Paulo)	A. N. B. 食品	Alimentos Nutricios do Brasil Indústria e Comercio e Representação	Indústria Ltda.	自炊食、ゼリー	1	
54	Suzano (S. Paulo)	チカラシ工業	TESSIN Indústria e Comercio Ltda.		針織加工	1	
55	Capital (S. Paulo)	ニッポンカントリークラブ	NIPPON Country Club Ltda.		スポーツクラブ(会館)	1	
56	Capital (S. Paulo)	加藤精機	KATO & CIA Ltda. Indústria e Comercio de Precisão		自動車部品、金具	1	
57	Capital (S. Paulo)	サンパウロ手続業務	Organização SÃO PAULO de Despachos e Consultoria S/O Ltda.		自動車部品、金具	1	
58	Capital (S. Paulo)	アルイカ電工	DELMIDA Indústria e Comercio Ltda.		空調機器修理	1	
59	Capital (S. Paulo)	トウキョウ電機	Air condicionado SEHVITOKYO Ltda		空調機器修理	1	
60	Capital (S. Paulo)	ノフト電機	Eletrônica SOFT Ltda		ラジオ、TV、電機機器修理	1	
61	Capital (S. Paulo)	エンロン建設	Construtora ENGIN Ltda.		土木、電機設計加工	1	
62	Capital (S. Paulo)	ニッポアラス	Mecânica NIPO BRAS Ltda		自動車部品(クラッシュシャフト)	1	
63	Santo André (S. Paulo)	セダクソンS.N	Modelagem S.N Ltda		彫像用 木彫、金彫	1	
64	Capital (S. Paulo)	星野電設	NIWANO Eletrica Instaladora e Comercio Ltda		電機工器設計加工	1	
65	João Pessoa (Paraiba)	アカーニル食品	AGAR Brasileiro Indústria e Comercio Ltda.		肉付け 輸入製造	1	
66	Capital (S. Paulo)	7デニマ食品	AGRO-NIPPO Produtos Alimentícios Ltda.		日本食品製造販売	1	

(3) 伯国および外国系企業

番号	会社所在地	会社名	会社名	社名	業種	回着数
1	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	VOLKS WAGEN	VOLKS WAGEN do Brasil S.A.	乗用車一帯	11	
2	Guarulhos (S.Paulo)	BARDELLA	BARDELLA S.A. Industrias Mecanicas	クレーン各種、産業機械	6	
3	Ribeirão Pires (S.Paulo)	CONSTANTA	CONSTANTA Eletrotecnica	電子部品	6	
4	Capital (S.Paulo)	VOLKS WAGEN	VOLKS WAGEN do Brasil S.A.	乗用車一帯	5	
5	Mogi das Cruzes (S.Paulo)	ELGIN	ELGIN Máquinas S.A.	ミシン、織機、家具	4	
6	São Caetano do Sul (S.Paulo)	G.M	GENERAL MOTORS do Brasil S.A.	乗用車、トラック	4	
7	São José dos Campos (S.Paulo)	EMBRAER	EMBRAER-Empresa Brasileira de Aeronautica S.A.	航空機	3	
8	Capital (S.Paulo)	FORD	FORD Brasil S.A.	乗用車、トラック	3	
9	Capital (S.Paulo)	EVADIN	EVADIN Indústria e Comercio Ltda	各種クワッド、スチレン、テープレコーダー等	2	
10	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	B.GROB	B GROB do Brasil S.A. Ind Com Máquinas Operativas e Ferramentas	自動車部品、特殊工作機械	2	
11	Capital (S.Paulo)	IND VILLAINES	Industria VILLAINES S A Divisão Elevadores	エレベーター	2	
12	Indaiatuba (S.Paulo)	ILMA	Metalurgica ILMA Ltda.	燃料ポンプ、化工機	2	
13	Mogi das Cruzes (S.Paulo)	VALMET	VALMET do Brasil S A Ind. e Com. de Tratores	トラック等(小形、中型)	2	
14	Capital (S.Paulo)	TRANSFAB	TRANSFAB Transportadores Tesno Fabris S A.	輸送機械、運搬機材	2	
15	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	TERMOMECANICA	TERMOMECANICA SÃO PAULO S.A.	プロシズ、銅加工品	2	
16	Sorocaba (S.Paulo)	SPLICE	SPLICE Indústria e Comercio de Conectores e Terminações Elétricas	複合樹脂用端子部、銅芯線	2	
17	São Caetano do Sul (S.Paulo)	BRASINCA	BRASINCA S.A.Ferramentaria, Carrocerias Veiculos	専用車体設計製造	2	
18	Oscarco (S.Paulo)	B B C	B B C do Brasil S A	水力発電機、ボイラー	2	
19	Itaquá (S.Paulo)	T. R. W.	T R W Gemmer Thompson S A	自動車部品(カンビオ、パードル一体)	2	
20	Recife (Pernambuco)	MONOR	MONOR-Micro Motores do Nordeste S.A.	マイクロモーター製造	2	
21	Capital (S.Paulo)	ULTRATEC	ULTRATEC Engenharia e Montagens S.A.	産業機械、化工機設計	1	
22	Diadema (S.Paulo)	NORMA	Empresa NORMA Ltda	金加工一帯、自動車部品	1	
23	Capital (S.Paulo)	TELESP	TELESP-Telecomunicações de São Paulo S.A.	電気通信工事	1	
24	Capital (S.Paulo)	VITON	Vitons VITON Ltda	ガラス加工用機械	1	
25	Capital (S.Paulo)	BRASWEY	BRASWEY S.A. Indústria e Comercio	カセットテープ、食用油	1	
26	Capital (S.Paulo)	AR DELIA	AR D'ELIA Equipamentos Pneumaticos Ltda	空気機器及び部品	1	
27	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	FRIS MOLDU CAR	FRIS MOLDU CAR Prisos, Molduras para Carros Ltda	自動車部品(樹脂加工)	1	
28	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	DEMAYER	DEMAYER-Accessoria Tecno Industrial Ltda	各種、市工具受注設計	1	
29	Capital (S.Paulo)	FLOIR de MAIO	FLOIR de MAIO S.A	印刷機修理管理	1	
30	Capital (S.Paulo)	ONAN MONTGOMERY	ONAN MONTGOMERY do Brasil S.A.	ガソリンエンジン、発電機	1	
31	Capital (S.Paulo)	MAIRKE	MAIRKE Industrial S A	プレス機械	1	
32	Rio de Janeiro (Rio de Janeiro)	INTERNACIONAL	INTERNACIONAL Engenharia S.A	工機設計	1	
33	Santo André (S.Paulo)	ARASANZ	ARASANZ Equipamentos Industriais Ltda	外交機油、ボームシム	1	
34	Santo André (S.Paulo)	SERMAR	SERMAR S.A. Controles Automaticos	自動制御装置	1	
35	Santo André (S.Paulo)	CHRYSLER	CHRYSLER Corporation do Brasil S.A	乗用車、トラック	1	
36	Guarulhos (S.Paulo)	ASFA	ASFA Elétrica S A	水圧器、蓄電池	1	

番号	会社所在地	会社名	会社名	業	備	時系列
37	Capital (S. Paulo)	ASVOTEO	ASVOTEO Termo Industrial Ltda			1
38	Capital (S. Paulo)	HEVEA	HEVEA Indústria de Plásticos Ltda		ボイラー、製糖 プラスチック家庭用品、自動車部品	1
39	Diadema (S. Paulo)	DORR OLIVER	Sociedade Tecnica Industrial e comercial DORR OLIVER Ltda		工業用フィルムター(公営用水施設)	1
40	Diadema (S. Paulo)	FUNDI DEM	FUNDIEM Produtos para Fundição S A		精製銅合金、鋳造用材料	1
41	Indiatuba (S. Paulo)	METAL LEVE	METAL LEVE GOULD Produtos Sinterizados Ltda.		ピストンピン、自動車用ター部品	1
42	Ribeirão Preto (S. Paulo)	CLOBO	Indústrias Químicas Eletro QLOBO S.A.		化学薬品(クロロフォルム、カセインゲ)	1
43	Santo André (S. Paulo)	MOTTA	Metabúrgica MOTTA Ltda		錠剤、薬	1
44	Capital (S. Paulo)	TIEMAD	TIEMAD Engenharia Ltda.		メトロ、発電所工事設計	1
45	Capital (S. Paulo)	A.M.F.	A.M.F. do Brasil S.A. Máquinas Automáticas		タバコ自動巻機	1
46	Capital (S. Paulo)	YORK	YORK S.A. Indústria e Comercio S.A.		プラスチック外科用医療機器、薬物	1
47	Capital (S. Paulo)	GATERPILLAR	GATERPILLAR Brasil S.A.		大気フィルター	1
48	Capital (S. Paulo)	MAHSICANO	MAHSICANO S.A. Indústria de Condutores Elétricos		各種電線	1
49	Capital (S. Paulo)	F.P.B.	F.P.B. Fabrica Paulista de Brocas Ferramentas de Corte S.A.			1
50	Capital (S. Paulo)	TRAUBOMATIC	TRAUBOMATICO Industrial Comercio Ltda.		自動車機器各種	1
51	Capital (S. Paulo)	WALITA	WALITA S.A. Electro Indústria		家庭電器製造	1
52	Capital (S. Paulo)	PHOMON	PHOMON Engenharia S.A.		化学工場設備	1
53	Capital (S. Paulo)	CHRISTIAN	CHRISTIAN & SETIEN do Brasil S.A.		エレクトロニクス部品	1
54	Diadema (S. Paulo)	SCHULER	Preuss SCHULER Ltda.		大気フィルター	1
55	Capital (S. Paulo)	SUPRENS	Metabúrgica SUPRENS Ltda.		ターボ金具、自動車部品	1
56	Lucilara (Mato Grosso do Sul)	PIRAQUASSU	PIRAQUASSU Agro Pecuario S.A		牧場経営	1
57	Santo André (S. Paulo)	COPAP	COPAP CIA Fabricadora de Peças		自動車部品(アモルテシドール)	1
58	Capital (S. Paulo)	J. POYRY	JAAKKO POYRY Engenharia S.A.		建築設計、配管設計	1
59	Capital (S. Paulo)	PHILCO	PHILCO Radio e Televisão Ltda.		ラジオ、テレビ、音響機器	1
60	Sorocaba (S. Paulo)	DAFERNER	DAFERNER S.A. Máquinas Graficas		印刷機	1
61	São Bernardo do Campo (S. Paulo)	CHUNSELEN	CHUNSELEN Corporation do Brasil S.A.		印刷機	1
62	Capital (S. Paulo)	BURROUCH	BURROUCH S. Eletrônica Ltda		受動機、トランス	1
63	São Caetano do Sul (S. Paulo)	Z.F.	Z.F. do Brasil S A		計器機、コンデンサター	1
64	Campinas (S. Paulo)	G.P.P.L.	Companhia Paulista de Força e Agua		自動車部品	1
65	Vailinhos (S. Paulo)	CLARK	Equipamentos OLARK S.A		ペトリウム電力	1
66	Piracicaba (S. Paulo)	DENINI	M. DENINI S.A. Metalúrgica		トランスミッション(トラック、トラクター)	1
67	São Bernardo do Campo (S. Paulo)	FORD CENTRO.P.	FORD Brasil S.A. (Centro de Peças)		製糖機械、ボイラー	1
68	Taubaté (S. Paulo)	FORD MOTOR	FORD S.A. Fabrica de Motores		製糖機、技術研究所	1
69	São José dos Campos (S. Paulo)	DETROIT	DETROIT Diesel Allison do Brasil S.A		自動車エンジン(輸出)	1
70	São José dos Campos (S. Paulo)	G.M.	GENERAL Motors do Brasil S A		自動車エンジン	1
71	São José dos Campos (S. Paulo)	ALPARGATA	Sao Paulo ALPARGATA S A		製糖機、トランス	1
72	São José dos Campos (S. Paulo)	O.T.A	Centro Tecnica Aeroespacial-C.T.A.		航空技術研究所	1

番号	会社所在地	会社名	会社名	社名	業	種	回着者数
73	São José dos Campos (S.Paulo)	ERICSSON	ERICSSON do Brasil Comercio e Indústria S.A.	電話受話器			1
74	Capital (S.Paulo)	DEBASE	DEBASE-Hipo-Basiliteira Equipamentos de BASE Ltda.	車庫設計			1
75	Capital (S.Paulo)	A. STEFANO	Escritorio Técnico ARMANDO STEFANO COLOTTO	空圧コンプレッサー			1
76	Capital (S.Paulo)	F.N.COMPRESSOR	Fábrica Nacional de COMPRESSORES S. A.	工場、産業機械空圧器具設計			1
77	Capital (S.Paulo)	A ARAUJO	A ARAUJO S.A.- Engenharia e Montagens	船舶機(特殊)			1
78	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	MERCEDES BENZ	MERCEDES BENZ do Brasil S.A.	自動車部品			1
79	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	BUFALO	Motora BUFALO Indústria e Comercio Ltda.	自動車部品			1
80	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	ARTEB	Indústria ARTEB S.A.	自動車部品			1
81	Capital (S.Paulo)	NORDON	NORDON Indústria	化学石油プラント、設計、施工			1
82	Capital (S.Paulo)	INTERNACIONAL	INTERNACIONAL Engenharia S.A.	工場設計			1
83	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	ENACO	ENCO ZOLNAC Equipamentos Industriais Ltda	産業機械設備設計			1
84	Jundiaí (S.Paulo)	ERMETO	ERMETO Equipamentos Industriais Ltda.	(レシオ)手廻り(コネクター)			1
85	Capital (S.Paulo)	INBELSA	INBELSA-Divisão da S.A. PHILIPS do Brasil	マイクローエレクト、電信機			1
86	Ribeirão Pires (S.Paulo)	BROSOL	Indústria e Comercio BROSOL do Brasil Ltda	自動車部品(強化器、現在装置)			1
87	Coita (S.Paulo)	METAL LEVE	METAL LEVE S.A. Indústria e Comercio	自動車部品(ピストンピン、モーター部品)			1
88	Campos do Jordão (S.Paulo)	TERRACO ITALIA	Salmoneicultura TERRAÇÃO ITALIA	豆腐製法			1
89	Pindamonhangaba (S.Paulo)	GONFAB	CONFAE Indústria S.A.	石油化学、製紙、塗料、工場設備、設計施工			1
90	Diadema (S.Paulo)	FERRA	FERRA Indústria Mecânica Ltda.	入井クレーン、運送機			1
91	Jandira (S.Paulo)	HERCULES	HERCULES Equipamentos Industriais S.A.	軍工業、金属工業			1
92	Quarubos (S.Paulo)	PHILCO	PHILCO Radio e Televisão Ltda	ラジオ、テレビ、音響機器			1
93	Capital (S.Paulo)	WAPSA	WAPSA Auto Peças S.A.	自動車部品			1
94	Capital (S.Paulo)	SEMP TOSHIBA	SEMP TOSHIBA Radio e Televisão S.A.	テレビ、ラジオ、音響機器			1
95	Capital (S.Paulo)	PIRELLI	PIRELLI S.A. CIA. Industrial Brasileira	非鉄金属加工、電線、タイヤ			1
96	Santo André (S.Paulo)	ELUMA	ELUMA S.A. Divisão I.S.A.	非鉄金属製品			1
97	Quarubos (S.Paulo)	PANEM	PANEM Ltda	医療器具(電圧)			1
98	Santo André (S.Paulo)	PETRO UNIAO	Petroquímica UNIAO S. A.	石油化学、エチレン			1
99	Capital (S.Paulo)	ARNO	ARNO S.A. Indústria e Comercio	炭酸飲料製品			1
100	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	WESTING HOUSE	WESTING HOUSE Comercio, Indústria e Serviços Ltda.	水力発電タービン設計、保守			1
101	Capital (S.Paulo)	ELECTROALLOY	ELECTROALLOY Indústria e Comercio de Ações Ltda	鋳造品			1
102	Capital (S.Paulo)	MAIN	MAIN Engenharia Ltda.	発電力設計			1
103	Capital (S.Paulo)	ROMI	Indústrias ROMI S. A.	製紙機械、工作機械			1
104	Capital (S.Paulo)	OCFANO GRAFICO	Instituto Oceano Grafico (U.S.P)	海洋学研究所			1
105	Capital (S.Paulo)	I. E. A.	Instituto de Energia Atomica (U.S.P)	原子力研究所			1
106	Capital (S.Paulo)	I. P. T.	Instituto de Pesquisas Tecnologia (U.S.P)	工務技術研究所			1
107	São Bernardo do Campo (S.Paulo)	BRASTEMP.	BRASTEMP. S.A	家電製品			1
108	Capital (S.Paulo)	MOELLERS	MOELLERS Sul Americana S A Ind e Com.	クレーン、運送機			1

番号	会社所在地	会社名	会社名	社名	業	種	回着枚数
109	Capital (S. Paulo)	SIEMENS	SIEMENS S. A.	SIEMENS S. A.	水力発電機, 変圧器, 電送器		1
110	Capital (S. Paulo)	TELSATE	TELSATE Telecomunicações Ind. e Com Ltda.	TELSATE Telecomunicações Ind. e Com Ltda.	送, 受信機		1
111	Manaus (Amazonas)	O-O E.	O. G. E. da Amazonia S. A.	O. G. E. da Amazonia S. A.	昇降機		1
112	Jacarei (S. Paulo)	PAPEL SIMÃO	Indústria de PAPEL SIMÃO S. A.	Indústria de PAPEL SIMÃO S. A.	製紙, セルローズ		1
113	Casaesola (S. Paulo)	INSTITUTO PÊSCA	Instituto de Pesca Casanovia	Instituto de Pesca Casanovia	水産研究所		1
114	Curitiba (Paraná)	HENBERT	HERVYRAND do Brasil S. A. Divisão Vickers	HERVYRAND do Brasil S. A. Divisão Vickers	鋳物用車		1
115	Capital (S. Paulo)	SPERRYLAND	SEI BRASIL S. A.	SEI BRASIL S. A.	測圧器		1
116	Salvador (Bahia)	SEI BRASIL	SEI BRASIL S. A.	SEI BRASIL S. A.	空機		1
117	Capital (S. Paulo)	REBOROR	Indústria e Comercio de Arrefatos de Borracha e Metal	Indústria e Comercio de Arrefatos de Borracha e Metal	空機		1
118	Belo Horizonte (Minas Gerais)	SINEL	SINEL S. A. - Engenharia, Comercio e Indústria	SINEL S. A. - Engenharia, Comercio e Indústria	空機		1
119	Guerulhos (S. Paulo)	OLIVETTI	OLIVETTI do Brasil S. A.	OLIVETTI do Brasil S. A.	マイクタイプ, 計算機		1
120	Capital (S. Paulo)	GRANFESA	Equipamentos VILLARES S. A.	Equipamentos VILLARES S. A.	運送機 (大型荷物)		1
121	São Bernardo do Campo (S. Paulo)	EQUIP VILLARES	Equipamentos VILLARES S. A.	Equipamentos VILLARES S. A.	クレーン, 圧縮機, 土壌機械		1
122	Capital (S. Paulo)	AÇO PAULISTA	Fabrica de Aço PAULISTA-ALLIS CHAMBER S. A.	Fabrica de Aço PAULISTA-ALLIS CHAMBER S. A.	発電所 (水力, 火力) 工機		1
123	Capital (S. Paulo)	SADÉ	SADÉ Sul Americana Engenharia S. A.	SADÉ Sul Americana Engenharia S. A.	電送機		1
124	Rio de Janeiro (Rio de Janeiro)	STANDARD ELETRICA	STANDARD ELETRICA S. A.	STANDARD ELETRICA S. A.	電送機		1
125	Diadema (S. Paulo)	HEBELER	HEBELER do Brasil Ind. e Com. de Maquinas Ltda	HEBELER do Brasil Ind. e Com. de Maquinas Ltda	自動車部品用工作機械		1
126	Capital (S. Paulo)	BASE	BASE Fotogrametria Ltda	BASE Fotogrametria Ltda	一般航空器用工作機械		1
127	Recife (Pernambuco)	SADOKIN-NORD	SADOKIN do Nordeste S. A. Indústrias Elétricas	SADOKIN do Nordeste S. A. Indústrias Elétricas	電球, 無線電球		1









JICA

(79-8-100)